

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施 策	①各地域におけるしまくとぅばの保存・普及・継承の促進
			施策の小項目名	○各地域のしまくとぅばの保存及び継承
主な取組	「しまくとぅばアーカイブ」の作成		対応する成果指標	しまくとぅばを挨拶程度以上使う人の割合
施策の方向	・言葉が生活又は文化芸術の基層をなし、文化そのものであることに鑑み、「しまくとぅばアーカイブ」の作成等により、消滅の危機にある各地域のしまくとぅばの保存及び継承に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄文化の基層である「しまくとぅば」を次世代へ継承するため、音声資料や映像資料等が十分とは言えない地域のしまくとぅばについて、保存及び継承に資するものとして、しまくとぅばのアーカイブ化の取組を行う。	県	しまくとぅばによる文法調査票の収集		
		しまくとぅばによる文法調査票の収集地域数(累計)		
		44地域	88地域(132地域)	88地域(220地域)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

しまくとぅばアーカイブ事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

委託

12, 390

16, 496

令和5年度活動内容

文法調査票を収集し、教材を作成した。また、教科書に掲載されている歌、文学的文章の収録や自然談話の収録に加え、昨年度実施分を公開した。

予算事業名

しまくとぅばアーカイブ事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

委託

22, 232

令和6年度活動計画

文法調査票を収集し、教材を作成する。また、教科書に掲載されている歌、文学的文章の収録や自然談話の収録に加え、昨年度実施分を公開する。

活動指標名

しまくとぅばによる文法調査票
の収集地域数 (累計)

R5年度

R3年度

R4年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

実績値

—

44地域

88地域 (132地域)

88地域 (132地域)

100. 0%

順調

活動概要

文法調査票88冊、教材の作成 1 セット、歌50
曲、文学的文章50編、自然談話 2 話を収集・収録
した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

・ 目標値88地域に対し、当該44地域から文法調査票を 2 種類ずつ、計88冊収集しており、順調と判定する。

・ ほかの教材や歌、文学的文章についても計画どおり収集し、しまくとぅばの保存に資するものとなった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○ 今後においても調査を進める上で収集予定地域の変更等が必要となってくる場合が想定されるため、県、受託者、対象地域の話者と連携体制を強化する。

対象地域の一部で話者が対応できない地域があったため、収集を予定していた地域を一部変更して遂行した。

- 2 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
③ 他地域等との比較 （内部要因）	話者が減少しつつある現状では、地域との信頼関係に基づく早期の調査が求められる。	② 連携の強化・改善	話者が減少しつつある現状においては、今後も調査を進める上で収集予定地域の変更等が必要となってくる場合が想定されるため、目標値を達成できるよう県、受託者、対象地域の話者と連携を密にする。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施 策	①各地域におけるしまくとうばの保存・普及・継承の促進
			施策の小項目名	○各地域のしまくとうばの保存及び継承
主な取組	しまくとうばに関する各種啓発の実施		対応する成果指標	しまくとうばを挨拶程度以上使う人の割合
施策の方向	・言葉が生活又は文化芸術の基層をなし、文化そのものであることに鑑み、「しまくとうばアーカイブ」の作成等により、消滅の危機にある各地域のしまくとうばの保存及び継承に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
しまくとうば県民大会、しまくとうば普及功労者表彰、関連普及イベント開催によりしまくとうばの周知・啓発を行う。	県	しまくとうば県民大会、しまくとうば功労者表彰、関連普及イベント開催による周知・啓発		
		しまくとうば功労者表彰者数(累計)		
		10個人・団体	10個人・団体(20個人・団体)	10個人・団体(30個人・団体)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

しまくとうば普及継承事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

委託

61,965

72,062

令和5年度活動内容

しまくとうば県民大会を実施し、「しまくとうば普及功労者表彰」、「U-18島唄者コンテスト」、「しまくとうば語やびら大会」等を実施した。

予算事業名

しまくとうば普及継承事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

委託

74,197

令和6年度活動計画

しまくとうば県民大会を実施し、「しまくとうば普及功労者表彰」、「U-18島唄者コンテスト」、「しまくとうば語やびら大会」等を実施する。

活動指標名

しまくとうば功労者表彰者数
(累計)

R5年度

R3年度

R4年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

11個人・団体

10個人・団体

8個人・2団体 (18個人・2団体)

10個人・団体 (20個人・団体)

100.0%

順調

地域における「しまくとうば」の普及に功績のあった個人及び団体に対して、その功績をたたえ、しまくとうば普及功労者表彰を令和5年9月17日の県民大会（第一部）で実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値10個人・団体に対し、功労者表彰数は、個人8名、団体2団体であり、「順調」と判定する。
また、「しまくとうば」の普及に尽力し、功績が顕著な方を表彰することにより、県民のしまくとうば使用を促進させる効果が期待できる。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○「しまくとうば県民大会（イベント）」、「関連普及イベント」の認知度向上を図るため、WEBによるライブ配信や特設サイトの設置などにより情報発信の強化を行う。

改善案のとおり実施した。

- 5 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 （外部環境の変化）	令和5年度のしまくとうば県民意識調査によると、「しまくとうば県民大会」の認知度については、17.4%であり、令和4年度（13.6%）から増加している。	⑤ 情報発信等の強化・改善	しまくとうば県民大会への来場者数をより増やすため、ステージ構成を工夫するとともに、各種SNSを活用した告知を積極的に行い、情報発信の強化を図る。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施 策	①各地域におけるしまくとうばの保存・普及・継承の促進
			施策の小項目名	○各地域のしまくとうば養成講座や出前講座の実施
主な取組	しまくとうば講師養成講座の実施		対応する成果指標	しまくとうばを挨拶程度以上使う人の割合
施策の方向	・しまくとうば普及の中核的機能を担う「しまくとうば普及センター」を中心に、関係機関や関係団体と連携を図りながら、各地域のしまくとうば養成講座や出前講座の実施に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
しまくとうばの普及継承を一層促進させるため、しまくとうば普及の中核的機能を狙う「しまくとうば普及センター」において、各地域における講師養成講座を実施する。	県	しまくとうば講師養成講座の実施		
		しまくとうば講師養成講座の実施回数(累計)		
		60回	60回(120回)	60回(180回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名しまくとぅば普及継承事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
（ソフト）

委託

61, 965

72, 062

令和5年度活動内容

4 月から 6 月にかけて、八重山上級講座を実施した。
また、 9 月から12月にかけて、宮古初級講座を実施した。

予算事業名しまくとぅば普及継承事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
（ソフト）

委託

74, 197

令和6年度活動計画

5 月から 7 月にかけて宮古中級講座を実施する。
また、 8 月から11月にかけて本島で沖縄前期・後期講座を実施する。

活動指標名しまくとぅば講師養成講座の実
施回数（累計）

R5年度

R3年度

R4年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

65回

58回

51回（109回）

60回（120回）

85. 0%

概ね順調

しまくとぅば普及センターにおいて、八重山上級講座及び宮古初級講座を実施した。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
目標値60回に対し、講座の実施回数は、八重山上級24回、宮古初級27回の計51回であり、「概ね順調」と判定する。 予定していた授業回数の一部を受講生による実践（模擬授業）に替えて6回行ったため、達成割合は85%にとどまっているが、しまくとうば講師として求められる必要な講座回数は実施している。 そのうち、合格者は37名でており、今後のしまくとうばの普及継承の一翼を担う人材の育成に寄与した。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の実施改善案	反映状況
○ 県民のしまくとうば使用頻度の更なる向上のため、「しまくとうば講師養成講座」の受講生の増加を促す観点から、これまでの対面での講座に加えて、オンライン聴講も実施する。	左記の改善案のとおり、オンライン聴講も開始した。

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化（外部環境の変化）	令和5年度のしまくとうば県民意識調査によると、「しまくとうば講師養成講座」の認知度は、5.6%であり、令和4年度（4.3%）から増加している。	④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	オンライン聴講者数の増加を図るため、情報発信を強化し、しまくとうば講師養成講座の認知度向上につなげる。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施 策	①各地域におけるしまくとうばの保存・普及・継承の促進
			施策の小項目名	○各地域のしまくとうば養成講座や出前講座の実施
主な取組	しまくとうば出前講座の実施		対応する成果指標	しまくとうばを挨拶程度以上使う人の割合
施策の方向	・しまくとうば普及の中核的機能を担う「しまくとうば普及センター」を中心に、関係機関や関係団体と連携を図りながら、各地域のしまくとうば養成講座や出前講座の実施に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
しまくとうばの普及継承を一層促進させるため、しまくとうば普及の中核的機能を狙う「しまくとうば普及センター」において、学校等への講座を実施する。	県	しまくとうば講師等の人材活用のコーディネート		
		しまくとうば関連講座への講師等派遣件数(累計)		
		15件	15件(30件)	15件(45件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

しまくとうば普及継承事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

委託

61,965

72,062

令和5年度活動内容

人材バンクを活用した応募による派遣事業10件、普及に効果的と考えられるモデル事業を5件の計15件実施した。

予算事業名

しまくとうば普及継承事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

委託

74,197

令和6年度活動計画

人材バンクを活用した応募による派遣事業10件、普及に効果的と考えられるモデル事業を5件の計15件実施する。

活動指標名

しまくとうば関連講座への講師等派遣件数 (累計)

R3年度

R4年度

R5年度

実績値

6件

20件

23件 (43件)

目標値 (B)

15件 (30件)

達成割合
A/B

100.0%

進捗状況

順調

活動概要

しまくとうば普及センターにおいて、人材バンクを活用し、講師派遣による小学校等でのクラブ活動等での児童へのしまくとうば講座・発音指導を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値として、応募による講師派遣講座10件、モデル事業5件に対し、両事業とも実施件数（講師派遣講座18件、モデル事業5件）を満たしているため、「順調」と判定する。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○ 県民のしまくとうば使用頻度の更なる向上のため、講師養成講座を修了した講師による実践講座の回数を増やし、効率的なしまくとうば普及継承を展開する。

与那国町の小学校で、講師養成講座を修了した講師によりしまくとうばの授業を実施するなど、しまくとうばの普及継承に寄与した。

- 11 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 （外部環境の変化）	令和5年度のしまくとうば県民意識調査によると、「しまくとうば講師の派遣」の認知度は、4.3%であり、令和4年度（2.8%）から増加している。	④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	「しまくとうば講師派遣」のさらなる認知度向上を図るため、講師養成講座を修了した講師による実践講座の回数を増やし、効率的なしまくとうば普及継承を展開する。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施 策	①各地域におけるしまくとうばの保存・普及・継承の促進
			施策の小項目名	○各地域のしまくとうば養成講座や出前講座の実施
主な取組	しまくとうば検定の実施		対応する成果指標	しまくとうばを挨拶程度以上使う人の割合
施策の方向	・しまくとうば普及の中核的機能を担う「しまくとうば普及センター」を中心に、関係機関や関係団体と連携を図りながら、各地域のしまくとうば養成講座や出前講座の実施に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
しまくとうばの普及継承を一層促進させるため、しまくとうば普及の中核的機能を狙う「しまくとうば普及センター」において、しまくとうば検定を実施する。	県	しまくとうば検定の実施		
		しまくとうば検定受検者数(累計)		
		1,000人	1,000人(2,000人)	1,000人(3,000人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

しまくとうば普及継承事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

委託

61,965

72,062

令和5年度活動内容

しまくとうば普及センターにおいて、これまでのしまくとうば検定試験の「級位設定等」の見直しを行い、新たな検定試験を実施した。

予算事業名

しまくとうば普及継承事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

委託

74,197

令和6年度活動計画

「しまくとうば上級者層」を対象に会場検定を実施するとともに、「しまくとうば初心者層」を対象に、「Eラーニング」を実施する。

活動指標名

しまくとうば検定受検者数 (累計)

R3年度

R4年度

R5年度

実績値

進捗状況

活動概要

1,114人

922人

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

大幅遅れ

しまくとうば普及センターにおいて、4級～6級に相当する上級者層向けに会場検定を実施した。また7級～9級に相当する初心者層向けにEラーニングを3月21日から開始した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

7級～9級の初心者層向けの検定をとりやめ、Eラーニングの視聴に変更したが、Eラーニングの開始日が3月21日と年度末であり、コンテンツの視聴回数が目標値に達していないことが進捗遅れの原因となっている。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○しまくとうばの認知度向上や県民の利便性向上のため、時間や場所を選ばず自由に学習・検定が可能な「Eラーニング」を令和5年度から新たに実施する。

令和6年度については、前年度で構築されたEラーニングのシステムを継続的に使用しており、目標達成が見込める。また、Eラーニングを広く活用してもらうため、学習意欲を駆り立てる広報物を発行するなど、情報発信を強化する。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 （外部環境の変化）	Eラーニングについては、開始から1週間で視聴回数338回と目標達成に向け順調といえる。	⑤ 情報発信等の強化・改善	Eラーニングを広く活用してもらうため、学習意欲を駆り立てる広報物を発行するなど、情報発信を強化する。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施 策	①各地域におけるしまくとうばの保存・普及・継承の促進
			施策の小項目名	○県民のしまくとうばを聞く機会や話す機会の創出
主な取組	普及に取り組む団体等への支援		対応する成果指標	しまくとうばを挨拶程度以上使う人の割合
施策の方向	・小・中学校や高等学校でのしまくとうば教材を活用した学習活動への支援など、しまくとうばの普及を推進するとともに、各地域でしまくとうばの普及に取り組む団体や民間企業等への支援を通して、県民のしまくとうばを聞く機会や話す機会の創出に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
各地域でしまくとうばの普及に取り組む団体や民間企業等へ支援する。	県	民間団体へのしまくとうば普及活動に関する補助		
		しまくとうば普及促進事業費補助金の交付団体数(累計)		
		8団体	8団体(16団体)	8団体(24団体)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名	しまくとうば普及継承事業				予算事業名	しまくとうば普及継承事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度		
					主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	補助	61,965	72,062		一括交付金 (ソフト)	委託	74,197
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画		
8団体を採択し、補助を行った。					8団体へ補助を予定している		

活動指標名	しまくとうば普及促進事業費補助金の交付団体数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	8団体	8団体	8団体（16団体）	8団体（16団体）	100.0%	順調	しまくとうば普及継承の取組に対する補助事業の公募を行ったところ、13団体の応募があった。審査の結果、8団体が採択され、しまくとうばの講座や公演、大会・コンテスト等の事業が展開された。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
目標値8団体に対し、しまくとぅばの普及効果が期待できる事業を応募13団体の中から8団体採択した。 採択された8団体の事業は、講座、公演、大会・コンテストなど多岐にわたり、幅広い年齢層が楽しめる内容で実施された。 多くの県民がしまくとぅばに親しむことができ、普及継承に寄与した。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○補助金交付決定後においても、積極的に経理上の留意点などを各団体へ周知し、各団体が補助事業を円滑に執行できるようサポートする。 ○補助の対象となる事業の取組例をより具体的にHP等で示し、事業の認知度向上を図る。	左記改善案のとおり実施し、円滑に執行した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	これまで県や市町村事業の経験が浅い団体等が多く、事務作業そのものについても不慣れな団体がほとんどであることから、補助事業制度そのものの理解が難しく、事業の執行に多大な支援を要する。	② 連携の強化・改善	補助金交付決定後においても、積極的に経理上の留意点などを各団体へ周知し、各団体が補助事業を円滑に執行できるようサポートする。
⑥ 他地域等の動向 (外部環境の変化)	県内団体で応募する団体や地域（中南部が主）に偏りがある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	補助の対象となる事業の取組例をより具体的にHP等で示し、事業の認知度向上を図る。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施 策	①各地域におけるしまくとうばの保存・普及・継承の促進
			施策の小項目名	○県民のしまくとうばを聞く機会や話す機会の創出
主な取組	しまくとうば普及センターによる相談業務の実施		対応する成果指標	しまくとうばを挨拶程度以上使う人の割合
施策の方向	・小・中学校や高等学校でのしまくとうば教材を活用した学習活動への支援など、しまくとうばの普及を推進するとともに、各地域でしまくとうばの普及に取り組む団体や民間企業等への支援を通して、県民のしまくとうばを聞く機会や話す機会の創出に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
しまくとうば普及センターにおいて、しまくとうばに関する総合窓口を設置し、実施する。	県	しまくとうば普及センターによる情報提供、アドバイス		
		普及団体や民間企業等からの相談対応件数(累計)		
		120件	120件(240件)	120件(360件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

しまくとうば普及継承事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

委託

61,965

72,062

令和5年度活動内容

しまくとうば普及への意見・提案、人材派遣の依頼、しまくとうばの表現に対する質問等の総合窓口として、幅広い主体・年齢層に対応した。

予算事業名

しまくとうば普及継承事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

委託

74,197

令和6年度活動計画

しまくとうば普及への意見・提案、人材派遣の依頼、しまくとうばの表現に対する質問等の総合窓口として、幅広い主体・年齢層に対応する。

活動指標名

普及団体や民間企業等からの相談対応件数 (累計)

R5年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

R3年度

R4年度

164件 (283件)

120件 (240件)

100.0%

順調

しまくとうば普及への意見・提案、県の施策に対する苦情、人材派遣の依頼、しまくとうばの表現に対する質問等の総合窓口として、幅広い主体・年齢層に対応した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値120件に対し、相談対応件数は164件であり、「順調」と判定する。
小中高の学生から高年齢の方々まで、幅広い年齢層からの問い合わせ対応を行い、しまくとうばの普及継承に寄与している。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○ 相談内容に応じて、しまくとうば普及センターが運営する「しまくとうばナビ」のWEBサイトへ積極的に案内するなど、しまくとうば普及センターの取組活動を広く情報発信する。

左記の改善案のとおり実施した。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 （外部環境の変化）	令和5年度のしまくとうば県民意識調査によると、「しまくとうば普及センター」の認知度は3.3%であり、令和4年度（2.2%）から増加している。	⑤ 情報発信等の強化・改善	総合窓口機能を広く活用してもらうため、「しまくとうば普及センター」の取組活動をWEBサイトやSNSを活用し、積極的に発信する。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施 策	②伝統芸能の継承・発展
			施策の小項目名	○伝統芸能の継承と発展
主な取組	国立劇場おきなわの伝統芸能県外公演		対応する成果指標	県の支援した伝統芸能関係団体が実施したイベント（公演等）の参加者数
施策の方向	・組踊、三線を伴奏楽器とする三線音楽、琉球舞踊その他の伝統芸能等を県民向けに披露する機会の創出や、広く国内外に向けた鑑賞機会の提供と情報発信を通して、伝統芸能の継承と発展に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄独自の多様で豊かな文化資源の発信のため、伝統芸能に関する県外公演・ワークショップ等を支援する。	県,国立劇場おきなわ	県外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		国立劇場おきなわ運営財団による伝統芸能の県外公演の開催数(累計)		
		1公演	1公演(2公演)	1公演(3公演)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）						
(1) 取組の進捗状況						
(単位：千円)						
予算事業名				予算事業名		
文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業				琉球歴史文化芸術興隆事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	補助	4,500	4,056	県単等	委託	5,640
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
福岡県、岡山県において組踊等沖縄伝統芸能を上演し、芸能を通して来場者に沖縄の魅力を発信し、沖縄観光のPRを行った。				京都府において組踊等沖縄伝統芸能を上演し、芸能を通して来場者に沖縄の魅力を発信し、沖縄観光のPRにも努める。		
活動指標名	国立劇場おきなわ運営財団による伝統芸能の県外公演の開催数 （累計）		R5年度			活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B	
実績値	1公演	1公演	3公演（4公演）	1公演（2公演）	100.0%	福岡県、岡山県における公演（鑑賞者：2,561人）や、ワークショップ（参加者：71人）を開催した。

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
公演前のワークショップや、組踊の歴史解説、楽器・小道具を紹介し、沖縄の伝統芸能に関心のある層へ効果的なアプローチが出来た。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
OVISIT JAPANトラベル&MICEマートが同時開催される、ツーリズムEXP0会場内で、旅行会社バイヤー向け情報発信や、演舞実演で沖縄伝統芸能の魅力を発信する。	ツーリズムEXP0会場内で、パンフレットやチラシを封入したクリアファイルの配布、琉球舞踊等の実演を実施することで、国立劇場おきなわ及び沖縄の伝統芸能をPRすることができた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	国内のみならず、国外に向けても沖縄伝統芸能の魅力を発信し、観光コンテンツとしての認知度向上を図る。	⑤ 情報発信等の強化・改善	県外でのワークショップや公演を通して沖縄伝統芸能の魅力を発信する。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施 策	②伝統芸能の継承・発展
			施策の小項目名	○伝統芸能の継承と発展
主な取組	伝統芸能の県外公演		対応する成果指標	県の支援した伝統芸能関係団体が実施したイベント（公演等）の参加者数
施策の方向	・組踊、三線を伴奏楽器とする三線音楽、琉球舞踊その他の伝統芸能等を県民向けに披露する機会の創出や、広く国内外に向けた鑑賞機会の提供と情報発信を通して、伝統芸能の継承と発展に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
文化の発信力の強化、文化交流の拡大、芸術文化のさらなる振興、人材の育成を目的として、県外で沖縄の芸能を発信する公演を実施する県内の文化芸術団体を派遣する。	県	県外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		文化芸術団体による県外公演の開催数(累計)		
		1公演	1公演(2公演)	1公演(3公演)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	-

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名		地域の文化芸術振興事業			予算事業名		地域の文化芸術振興事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度			
					主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	委託	4,000	4,000		県単等	委託	8,000	
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画			
令和5年度は、県外公演として長野県で琉球古典芸能の公演を1公演実施し、151名が参加した。					令和6年度は、県外公演を2公演予定している。			

活動指標名	文化芸術団体による県外公演の開催数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		令和5年度は予定通り事業を実施し長野県で1公演を開催した。
	0公演	1公演	1公演（2公演）	1公演（2公演）	100.0%		
						順調	

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和5年度は、計画数県外講演1公演に対し活動実績が1公演となり、達成割合が100%となった。開催地を本県と交流推進協定を締結している長野県とすることで、長野県庁の後援のもと、幅広い広報協力が得られた。また、来場者に対しアンケート調査を実施し、回答者の半数以上が琉球芸能を初めて鑑賞するとのことであったが、9割程度の方から講演内容について高評価をいただいた。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の実施改善案	反映状況
○ 事業の公募について、広報周知を強化し、応募団体数を増やす。 ○ 昨年度実績ベースの客席数200席を条件とし、大都市圏以外での開催も可能とする。 ○ 公演にあたってアンケート調査を実施し、事業の効果を分析する。	○ 広報周知を強化した結果、7団体からの応募があった。 ○ 仕様書にて客席数を200席以上とした。 ○ アンケート調査を実施し、回答者の9割程度から講演内容について高評価をいただいた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	県人会や琉舞道場の支部等も無い地方都市において、集客に苦慮した。	⑤ 情報発信等の強化・改善	公演周知の期間、周知の方法等広報の手段を強化し、集客につなげる。
		④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	開催地における各種イベントとのコラボ等開催方法を工夫することで、集客につなげる。
		④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	メディアを活用し、実際に会場に来場した観客以外へも沖縄文化芸能を発信する。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施 策	②伝統芸能の継承・発展
			施策の小項目名	○伝統芸能の継承と発展
主な取組	伝統芸能の海外公演		対応する成果指標	県の支援した伝統芸能関係団体が実施したイベント（公演等）の参加者数
施策の方向	・組踊、三線を伴奏楽器とする三線音楽、琉球舞踊その他の伝統芸能等を県民向けに披露する機会の創出や、広く国内外に向けた鑑賞機会の提供と情報発信を通して、伝統芸能の継承と発展に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
文化の発信力強化、文化交流の拡大、芸術文化のさらなる振興、人材の育成等を目的として、海外で沖縄の芸能を発信する公演を実施する県内の文化芸術団体を派遣する。	県	海外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		文化芸術団体による海外公演の開催数(累計)		
		—	1公演	1公演(2公演)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

地域の文化芸術振興事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

県単等

委託

0

14,000

令和5年度活動内容

令和5年度は海外公演としてワシントンDCで創作劇を2公演実施し、208名を集客した。

予算事業名

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

令和5年度活動内容

予算事業名

-

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

-

-

令和6年度活動計画

令和6年度は他事業に統合。

予算事業名

琉球歴史文化芸術興隆事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

委託

43,573

令和6年度活動計画

海外において沖縄の文化芸能に係るイベントを開催する。

活動指標名

文化芸術団体による海外公演の開催数(累計)

R5年度

進捗状況

活動概要

実績値

R3年度

R4年度

実績値(A)

目標値(B)

達成割合
A/B

0公演

0公演

2公演

1 公演

100.0%

順調

令和5年度は予定通り事業を実施し海外公演としてワシントンDCで創作劇を2公演開催した。

- 29 -

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和5年度は、計画数、海外講演1公演に対し活動実績が2公演となり、達成割合が100%となった。開催地をワシントンDCしたことで、沖縄県ワシントンDC事務所の協力の下、各国の大使館や行政関係者などへの広報活動や公演への招待等の協力が得られたことで集客につながった。また、公演前に、現地の大学の学生や教員とのオンライン文化交流会を開催したことで、沖縄文化への理解を深めることができた。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 公演地域の選定要件や、公演規模、公演内容等を事業目的を踏まえて検討し、適切な時期に公募を開始する。 ○ 事業の公募について、広報周知を強化し、応募団体数を増やす。 ○ 公演にあたってアンケート調査を実施し、事業の効果を分析する。	○ 公募の開始時期、広報周知を強化した結果、5団体からの応募があった。 ○ アンケート調査を実施し、観客の年齢層、広報の方法等について分析することができた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	急激な円安にともなう旅費の増加や現地スタッフの人件費の高騰等により予算が圧迫し、広報面で不十分となった。	⑤ 情報発信等の強化・改善	公演周知の期間、周知の方法等広報の手段を強化し、集客につなげる。
⑦ その他(改善余地の検証等)	琉球芸能の認知度が低い中で、集客に苦慮した。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	開催地における各種イベントとのコラボ等開催方法を工夫することで、集客につなげる。
		④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	メディアを活用し、実際に会場に来場した観客以外へも沖縄文化芸能を発信する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施 策	②伝統芸能の継承・発展
			施策の小項目名	○伝統芸能の世代継承
主な取組	伝統芸能公演への支援		対応する成果指標	県の支援した伝統芸能関係団体が実施したイベント（公演等）の参加者数
施策の方向	・ 各地域の伝統芸能の担い手となる若手実演家等の公演機会の充実を図り、本県の伝統芸能の世代継承に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
伝統芸能の継承・発展を図るため、伝統芸能公演への支援を行う。	県,文化振興会,国立劇場おきなわ	伝統芸能の鑑賞機会の提供、若手実演家の育成及び次世代を担う子供達が沖縄の伝統芸能に触れる機会の創出		
		かりゆし芸能公演への入場者数(累計)		
		1,683人	1,683人(3,366人)	1,683人(5,049人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

沖縄県文化振興事業等推進費

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

県単等

補助

51,714

54,577

令和5年度活動内容

国立劇場おきなわや各市町村と連携しかりゆし芸能公演を20公演実施した。

予算事業名

沖縄県文化振興事業等推進費

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

補助

54,577

令和6年度活動計画

国立劇場おきなわや各市町村と連携しかりゆし芸能公演を20公演実施する。

活動指標名

かりゆし芸能公演への入場者数
(累計)

R5年度

R3年度

R4年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

2,350人

1,737人

1,414人 (3,151人)

1,683人 (3,366人)

84.0%

概ね順調

県民及び来県者に伝統芸能の鑑賞機会を提供するとともに若手実演家の育成を図るため、若手実演家等の公演及び国の重要無形文化財保持者の公演を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

国立劇場おきなわを始め、離島等の公演実施を通じ、伝統芸能の保有者が活躍できる場を提供することで、若手実演家の育成が図られた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○ 公演実施団体による広報活動だけではなく、文化振興会においてもSNSやデジタルサイネージ等による広報活動を図り、観光客を含めた誘客の強化を図る。

○ 文化振興会において、SNSの広報活動を積極的に実施し、誘客の強化を図ったところ、前年度より公演の入場率が上昇した。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	令和5年度に実施した国立劇場おきなわ公演の入場率は73.9%と前年度から11.2ポイント増加したが、さらなる入場者数の確保を図るため、広報活動を行い情報発信していく必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	公演実施団体による広報活動だけではなく、文化振興会においてもSNS等による広報活動を図り、観光客を含めた誘客の強化を図る。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施 策	③伝統文化の保存・継承・発展
			施策の小項目名	○地域や島の伝統行事の伝承・復元等
主な取組	地域伝統芸能を集めた公演		対応する成果指標	市町村文化協会会員数
施策の方向	・ 地域や島によっては、伝統行事をはじめ伝統的な生活文化が失われつつあることから、シンポジウムや公演等を通して伝統行事等を見直すきっかけをつくり、地域や島の伝統行事の伝承・復元等に向けた取組を推進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
普段、祭事等でしか披露されていない地域の伝統芸能等を国立劇場おきなわに集め、舞台公演として県民へ披露する「特選 沖縄の伝統芸能」を開催する。	県	県内各地で受け継がれる伝統文化の情報収集・発信・提供		
		国立劇場おきなわにおける伝統芸能を集めた公演数、1公演あたりの取り扱い地域数(累計)		
		1公演、5地域	1公演、5地域(2公演、10地域)	1公演、5地域(3公演、15地域)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/bunka/index.html

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	地域伝統文化の継承・発信支援事業			予算事業名	地域伝統文化の継承・発信支援事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	
県単等	委託	6,724	6,050	県単等	委託	6,075
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
地域の伝統芸能等を集めた舞台公演を開催した。				地域の伝統芸能等を集めた舞台公演を開催する。		

活動指標名	国立劇場おきなわにおける伝統 芸能を集めた公演数、1公演あ たりの取り扱い地域数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		地域の祭等で披露される伝統芸能5団体を集め 国立劇場おきなわで「第10回特選 沖縄の伝統芸 能」として開催した。
	1公演	1公演	1公演（2公演）	1 公演	100.0%		
活動指標名	国立劇場おきなわにおける伝統 芸能を集めた公演数、1公演あ たりの取り扱い地域数（累計）		R5年度			順調	
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	5地域	5地域	5地域（10地域）	5 地域	100.0%		

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
「第10回特撰 沖縄の伝統芸能」を国立劇場おきなわで開催し、県内各地域の伝統芸能・伝統行事の促進等につながった。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 引き続き、地域文化の普及継承に携わる各団体の連携を強化するため、情報交換の場を提供し、今後の地域文化の普及継承に対する機運醸成を図る必要がある。 ○ 引き続き、各地域の特色・違いを再発見し愛着を持ってもらうため、文化の基層であり、地域ごとに特色がある「しまくとうば」を絡めた地域の伝統芸能等を集めた公演を開催する。 ○ 引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底のうえ、開催する。	○ 地域文化の普及継承に携わる各団体の連携を強化するため、情報交換の場を提供し、今後の地域文化の普及継承に対する機運醸成を図った。 ○ 各地域の特色・違いを再発見し愛着を持ってもらうため、文化の基層であり、地域ごとに特色がある「しまくとうば」を絡めた地域の伝統芸能等を集めた公演を開催した。 ○ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底のうえ開催した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	地域文化継承に関して、文化関連団体間の横の連携が十分とは言えず、各地の取組について情報交換できるような場がない。	② 連携の強化・改善	引き続き、地域文化の普及継承に携わる各団体の連携を強化するため、情報交換の場を提供し、今後の地域文化の普及継承に対する機運醸成を図る必要がある。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	各地域の住民が、自らの地域の伝統行事・伝統芸能の重要性や価値を共有できていない。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	引き続き、各地域の特色・違いを再発見し愛着を持ってもらうため、文化の基層であり、地域ごとに特色がある「しまくとうば」を絡めた地域の伝統芸能等を集めた公演を開催する。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施 策	③伝統文化の保存・継承・発展
			施策の小項目名	○地域や島の伝統行事の伝承・復元等
主な取組	地域や島でのシンポジウムや座談会の開催		対応する成果指標	市町村文化協会会員数
施策の方向	・ 地域や島によっては、伝統行事をはじめ伝統的な生活文化が失われつつあることから、シンポジウムや公演等を通して伝統行事等を見直すきっかけをつくり、地域や島の伝統行事の伝承・復元等に向けた取組を推進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
各地域の伝統行事・芸能等をテーマに文化講演(シンポジウム・座談会等)を開催する。	県	県内各地で受け継がれる伝統文化の情報収集・発信・提供		
		地域や離島でのシンポジウム・座談会の開催回数(累計)		
		3回	3回(6回)	3回(9回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/bunka/index.html

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名	地域伝統文化の継承・発信支援事業				予算事業名	地域伝統文化の継承・発信支援事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度		
					主な財源	実施方法	
県単等	委託	6,724	6,050		県単等	委託	6,075
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画		
県内各地域の伝統行事、伝統芸能、しまくとうば等の普及・継承についての座談会を1回開催するとともに、映像制作を行い、WEB配信を行った。					県内各地域の伝統行事、伝統芸能、しまくとうば等の普及・継承についての座談会を1回開催するとともに、映像制作を行い、WEB配信を行う。		

活動指標名	地域や離島でのシンポジウム・座談会の開催回数(累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		3回	2回	1回(3回)	3回(6回)	33.3%	大幅遅れ

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

地域における旧正月の伝統行事や伝統芸能を取り上げ、文化の継承をテーマに座談会を開催した。年々予算額が減額されていることや、コロナ禍の影響で出演者の調整に難航していることなどから、座談会の回数を減らしているが、youtubeを活用したweb配信を行うなど、内容の充実を図った。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度 of 取組改善案	反映状況
○ 引き続き、各地域の特色・違いを再発見し愛着を持ってもらうため、文化の基層であり、地域ごとに特色がある「しまくとうば」を絡めたシンポジウム・座談会の開催、座談会のWEB配信を行う。 ○ 引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底のうえ、シンポジウム・座談会等を開催する。	○ 各地域の特色・違いを再発見し愛着を持ってもらうため、文化の基層であり、地域ごとに特色がある「しまくとうば」を絡めたシンポジウム・座談会の開催、座談会のWEB配信を行った。 ○ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底のうえ、シンポジウム・座談会等を開催する。

様式 1（主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	各地域の特色・違いを再発見してもらい、愛着を持ってもらうため、文化の基層であり、地域ごとに特色がある「しまくとうば」を絡めたシンポジウム・座談会を開催する必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	引き続き、各地域の特色・違いを再発見し愛着を持ってもらうため、文化の基層であり、地域ごとに特色がある「しまくとうば」を絡めたシンポジウム・座談会を開催する。また、予算額の確保に努める。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	社会・経済情勢等の変化を踏まえた情報発信のあり方を検討する必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	引き続き、シンポジウム・座談会のWEB配信を行い、当日会場で見ることができない方にも閲覧できるようにするとともに、過去のアーカイブを蓄積するなど情報発信を強化する。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施 策	③伝統文化の保存・継承・発展
			施策の小項目名	○独特な食文化の保存・普及・継承及び魅力の発信
主な取組	琉球料理伝承人の育成・フォローアップ		対応する成果指標	市町村文化協会会員数
施策の方向	・ 本県の文化や歴史の中で培われてきた伝統的な食文化である琉球料理や琉球泡盛については、琉球料理伝承人の養成やユネスコ無形文化遺産登録に向けた県民の気運醸成を図り、独特な食文化の保存・普及・継承及び魅力の発信に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄の伝統的な食文化の担い手となる人材(琉球料理伝承人)の育成講座・フォローアップ講座を実施する。	県	沖縄の伝統的な食文化の担い手となる人材(琉球料理伝承人)の育成講座・フォローアップ講座の実施		
		講座参加人数(累計)		
		70人	70人(140人)	70人(210人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

沖縄食文化保存普及継承事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

委託

19,537

19,688

令和5年度活動内容

沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、フォローアップ講座等を実施した。

予算事業名

沖縄食文化保存普及継承事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

委託

18,348

令和6年度活動計画

沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、フォローアップ講座等を実施する。

活動指標名

講座参加人数（累計）

R5年度

進捗状況

活動概要

実績値

R3年度

R4年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

—

53人

175人 (228人)

70人 (140人)

100.0%

順調

沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、フォローアップ講座等を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

既存の琉球料理传承人に対し知識及び技能向上を図るフォローアップ講座を実施し、次世代の担い手を育成することができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○ 令和5年度の取組については、既存の担い手に対する取組を重視し、フォローアップ講座の開催を増やすことで、受講者の増につなげる。

既存の传承人に対するフォローアップ講座の開催数や受講定員数を増やしたことで、受講者の増加につながり、琉球料理传承人全体の理解・技術を高めることができた。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図るため、新たな担い手の育成にも取り組む必要がある。	⑦ 取組の時期・対象の改善	令和6年度については、既存の琉球料理传承人に対するフォローアップ講座のほか、担い手育成講座を実施し、新たな担い手の育成にも取り組む。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施 策	③伝統文化の保存・継承・発展
			施策の小項目名	○独特な食文化の保存・普及・継承及び魅力の発信
主な取組	伝統的食文化のユネスコ無形文化遺産登録に向けた県民の気運醸成		対応する成果指標	市町村文化協会会員数
施策の方向	・ 本県の文化や歴史の中で培われてきた伝統的な食文化である琉球料理や琉球泡盛については、琉球料理传承人の養成やユネスコ無形文化遺産登録に向けた県民の気運醸成を図り、独特な食文化の保存・普及・継承及び魅力の発信に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄の伝統的な食文化に関する情報発信・普及啓発のため、琉球料理传承人出前講座を実施する。	県	沖縄の伝統的な食文化に関する情報発信・普及啓発		
		琉球料理传承人出前講座の参加者数(累計)		
		100人	100人(200人)	100人(300人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

沖縄食文化保存普及継承事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

委託

19,537

19,688

令和5年度活動内容

沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、琉球料理伝承人出前講座を実施した。

予算事業名

沖縄食文化保存普及継承事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

委託

18,348

令和6年度活動計画

沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、琉球料理伝承人出前講座を実施する。

活動指標名

琉球料理伝承人出前講座の参加者数 (累計)

R5年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

R3年度

R4年度

97人 (242人)

100人 (200人)

97.0%

順調

沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、学校関係者、食関連業界団体及び修学旅行関係者等向けに琉球料理伝承人出前講座を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

琉球料理伝承人出前講座を通じ、学校関係者、食関連業界団体及び修学旅行関係者等に琉球料理の情報を発信し、沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承が図られた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○ 沖縄の伝統的な食文化について、伝承人活動を強化するなどこれまで以上にPR活動に尽力する。

学校関係者、食関連業界団体及び修学旅行関係者等複数のジャンルの団体に出前講座を実施することにより、幅広く情報発信を行った。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	沖縄の伝統的な食文化は若い世代を中心とした伝統料理離れが進み失われつつある中、沖縄の伝統的な食文化に関する認知度は依然低い状況となっている。	⑧ その他	沖縄の伝統的な食文化について、传承人活動を強化するなどこれまで以上にPR活動に尽力する。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施 策	④文化財の保存・活用
			施策の小項目名	○貴重な文化遺産の後世への継承
主な取組	戦災等により失われた琉球王国時代の文化遺産の調査研究		対応する成果指標	文化財の指定件数（累計）
施策の方向	・文化財の新たな指定に向けた調査、米軍基地内を含む埋蔵文化財の各種調査と保存・活用、在外文化財の調査、戦災文化財の復元等を進め、貴重な文化遺産の後世への継承に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
琉球王国時代の文化遺産等から得られる学術的知見や科学分析等の情報を集積し、王国時代の手わざを現代の最高水準の手わざで復元する。また、模造復元を通して世界に誇る沖縄の手わざの力を内外へ発信し、琉球王国文化の体系化を図るとともに、文化観光・研究拠点としての沖縄をアピールする。	県	復元製作基本設計		試作品製作
		調査研究等の監修者委員会の開催回数(累計)		
		8回	16回(24回)	16回(40回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	琉球王国文化遺産集積・再興事業			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	
一括交付金 （ソフト）	委託	14, 802	18, 173	

令和5年度活動内容

9 分野の監修者会議を実施し、より実現性の高い模造復元候補の絞り込み（35点）と具体的な発信方法を盛り込んだ実施設計書を作成した。

(単位：千円)

予算事業名	琉球王国文化遺産集積・再興事業		
R6年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
一括交付金 （ソフト）	委託	76, 340	

令和6年度活動計画

9 分野の監修者会議を実施し、35 点の模造復元製作（科学分析、材料調達、試作等）とSNS等を用いながら得られた知見を発信する。

活動指標名	調査研究等の監修者委員会の開催回数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	18回（27回）	18回	18回（36回）	16回（24回）	100. 0%	順調	戦災等によって失われた琉球王国の文化遺産に係る模造復元品製作と発信業務の9分野の監修者会議を実施し、実施設計を作成した。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
平成27年度から令和3年度に取り組んだ65件の模造復元品製作と展覧会等の発信業務を受けて、令和4年度から令和13年度にかけて新たな模造復元品製作と発信業務に取り組むため、令和4年度に基本設計を作成した。令和5年度は8分野の模造復元品の製作と発信業務1分野（合計9分野）の監修者会議を18階開催し、有識者からの意見等を反映し、実施設計を作成した。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の実施改善案	反映状況
○復元候補の中から、原材料や製作者の確保等を検討したうえで優先順位をつけ、より実現性が高い模造復元対象資料を絞り込む。 ○模造復元の製作工程等を広く紹介するための効果的な発信方法を検討する。	・基本設計で選定された179件の復元候補の中から、原材料や製作者の確保等を検討した結果、より実現性の高い35件の模造復元対象を選定した。 ・模造復元の製作工程等をより効果的に発信するため、ターゲットの洗い出しを行い世代別の発信方法を検討し実施設計書に盛り込んだ。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	模造復元に関して、昨今の社会情勢の変化による原材料の枯渇や高騰に留意した原材料の確保が必要である。	⑥ 変化に対応した取組の改善	科学分析や試作等を行いながら、原材料の検討や確保、入手が難しい場合は代替材の使用等を監修委員の監修を受けながら検討する。
⑦ その他(改善余地の検証等)	模造復元の製作工程等を広く紹介するための発信方法を工夫する必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	模造復元製作が始まるため、SNS等を用いた継続的な情報発信する。また、その運用方法について検討・工夫する。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	①創造的文化芸術の発展を担う人材の育成
			施策の小項目名	○新たな文化芸術創出の促進や文化芸術の発展を担う人材の育成
主な取組	九州芸術祭（文学賞）の実施		対応する成果指標	沖縄県立芸術大学の卒業者数（累計）
施策の方向	・文学、音楽、美術、演劇、舞踊、メディア芸術など、県民の主体的・創造的な芸術文化活動による新たな文化芸術の創出を促進するとともに、本県の文化芸術の発展を担う人材の育成に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
芸術文化の発展を担う人材の育成を図るため、九州芸術祭文学賞として、未発表の文学作品(小説)の公募を行い、最優秀作を選定する。最優秀作は「文藝春秋」(文藝春秋)に掲載される。	県	文学賞の実施		
		応募作品件数(累計)		
		30件	30件(60件)	30件(90件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名九州芸術祭事業費

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

県単等

負担

1,350

1,350

令和5年度活動内容

九州芸術祭文学賞として未発表の文学作品の公募を行い、県内からは24作品の応募があった。

予算事業名九州芸術祭事業費

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

負担

1,350

令和6年度活動計画

芸術文化の発展を担う人材の育成を図るため、九州芸術祭文学賞として、未発表の文学作品（小説）の公募を行い、最優秀作を選定する。

活動指標名

応募作品件数（累計）

R3年度

R4年度

32件

25件

R5年度

実績値(A)

目標値(B)

24件（49件）

30件（60件）

達成割合
A/B

80.0%

進捗状況

概ね順調

活動概要

九州芸術祭文学賞として、未発表の文学作品（小説）の公募を行い、県内からは24作品の応募があった。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

九州芸術祭文学賞の応募数が24作品あり、一定程度、県民の文学に対する意識向上が図られたと考え、概ね順調と判断している。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

応募作品数を増加させるため、応募件数が少ない若年層への広報周知を強化する必要がある。
R5年度はカラーのチラシを配付やホームページでの情報掲載をおこなう。

反映状況

報道機関や市町村、文化協会など関係団体へチラシを配布し周知依頼をすると共に、ホームページへの情報掲載・SNS等を活用した広報を行った。

- 50 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	若い世代の応募が比較的少ない傾向がある。 （30代：4人、40代：3人、50代：3人、60代：7人、70代：5人、80代：2人）	⑤ 情報発信等の強化・改善	応募作品数を増加させるため、応募件数が少ない若年層への広報周知を強化する必要がある。 ホームページやSNS等を活用した情報発信を行う。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	①創造的文化芸術の発展を担う人材の育成
			施策の小項目名	○新たな文化芸術創出の促進や文化芸術の発展を担う人材の育成
主な取組	おきなわ文学賞の実施		対応する成果指標	沖縄県立芸術大学の卒業者数（累計）
施策の方向	・文学、音楽、美術、演劇、舞踊、メディア芸術など、県民の主体的・創造的な芸術文化活動による新たな文化芸術の創出を促進するとともに、本県の文化芸術の発展を担う人材の育成に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県民及び県外・海外の県系人から文学作品を広く公募することで、本県における文学活動の推奨及び県民文化の振興を目的として、おきなわ文学賞を実施する。	県文化振興会	文学賞の実施		
		おきなわ文学賞作品応募者数(累計)		
		150人	150人(300人)	150人(450人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

沖縄県文化振興事業等推進費

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

県単等

補助

51,714

54,577

令和5年度活動内容

文学活動の推奨及び県民文化の振興を目的として、おきなわ文学賞を実施した。

予算事業名

沖縄県文化振興事業等推進費

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

補助

54,577

令和6年度活動計画

令和6年度においても、引き続き、おきなわ文学賞を実施する。

活動指標名

おきなわ文学賞作品応募者数
(累計)

R3年度

R4年度

277人

254人

R5年度

実績値(A)

目標値(B)

達成割合
A/B

158人(412人)

150人(300人)

100.0%

進捗状況

順調

活動概要

文学活動の推奨及び県民文化の振興を目的として、おきなわ文学賞を実施し、40作品34名の入賞を決定した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和5年度は、休止していた募集部門の再開（琉歌部門）があったが、前年度より応募者数は減少した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

○ 文化振興会ホームページ等に過去の受賞者のインタビュー等を掲載することにより、おきなわ文学賞の認知度向上を図り、応募者数の増につなげていく。

反映状況

○ 予算の関係上ホームページの掲載はできなかったが、SNSでの情報発信を積極的に実施し、おきなわ文学賞の認知度向上を図った。

- 53 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	「おきなわ文学賞」については、平成17年度から継続して取組を実施しており、一定の応募作品数があったが、令和5年度は大きく減少したことから、認知度向上のための取り組みが必要である。	⑤ 情報発信等の強化・改善	令和5年度は学校からの応募が減少したことから、生徒たちを対象としたワークショップ等を実施することにより、おきなわ文学賞の認知度向上を図り、応募者数の増につなげていく。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	①創造的文化芸術の発展を担う人材の育成
			施策の小項目名	○沖縄県立芸術大学における支援体制の整備やキャリア支援の推進
主な取組	沖縄県立芸術大学における就職支援		対応する成果指標	沖縄県立芸術大学の卒業者数（累計）
施策の方向	・幅広い芸術を専門的に学ぶ教育機関である沖縄県立芸術大学については、様々な学生が心身ともに充実した学生生活を送り、意欲的に学修に取り組むことができるよう、学修支援、生活支援等の学生へのきめ細かな支援体制を整備するほか、学生が個性や能力を生かし希望した進路に進むことができるよう、キャリア支援を推進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県立芸術大学において、学生へのきめ細かな就職支援を行うため、企業と連携した説明会等に取り組む。	県、沖縄県立芸術大学	芸術文化に特化・関連した職種・業種にターゲットを絞った求人開拓		
		学内合同企業説明会の実施回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/bunka/index.html

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

(単位：千円)

予算事業名	—		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
—	—		
令和5年度活動内容			
多数の企業説明会を開催するなど、卒業後・修了後の就職に向けた支援を行った。			

予算事業名	—		
R6年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
—	—		
令和6年度活動計画			
多数の企業説明会を開催するなど、卒業後・修了後の就職に向けた支援を行う。			

活動指標名	学内合同企業説明会の実施回数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	2回	3回	2回 (5回)	1回 (2回)	100.0%	順調	学内合同企業説明会を2回開催した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

学生の特性にマッチングできる企業を参集した合同企業説明会を2回実施し、延べ20社が参集した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 引き続き、学生と企業のマッチングを主な目的とした合同企業説明会を継続して行い、学生の就職支援に努める。	合同企業説明会には県内・県外から芸大の特性に合った企業を招へいた。

- 56 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況（内部要因）	引き続き、学生が専門性を活かせる就職先を構築するため、合同企業説明会等の就職先のマッチングが図られる取組を行う必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	引き続き、学生と企業のマッチングを主な目的とした合同企業説明会を継続して行い、学生の就職支援に努める。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	①創造的文化芸術の発展を担う人材の育成
			施策の小項目名	○沖縄県立芸術大学における支援体制の整備やキャリア支援の推進
主な取組	沖縄県立芸術大学における教育研究活動の推進		対応する成果指標	沖縄県立芸術大学の卒業者数（累計）
施策の方向	・幅広い芸術を専門的に学ぶ教育機関である沖縄県立芸術大学については、様々な学生が心身ともに充実した学生生活を送り、意欲的に学修に取り組むことができるよう、学修支援、生活支援等の学生へのきめ細かな支援体制を整備するほか、学生が個性や能力を生かし希望した進路に進むことができるよう、キャリア支援を推進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
公立大学法人沖縄県立芸術大学に対して一般運営費交付金を交付し、その運営を支援することで、中期目標で示す同大学の建学の理念を踏まえた基本目標の達成に資する。	県、沖縄県立芸術大学	沖縄県立芸術大学における教育研究活動の推進		
		沖縄県立芸術大学への交付金の交付		
		交付	交付	交付
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/bunka/index.html

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名	公立大学法人沖縄県立芸術大学運営費交付金等交付事業（一般）				予算事業名	公立大学法人沖縄県立芸術大学運営費交付金等交付事業（一般）	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度		
					主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	補助	1, 303, 996	1, 296, 996		県単等	補助	1, 296, 996
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画		
公立大学法人沖縄県立芸術大学の法人収入のみでは不足する運営に係る経費について、一般運営費交付金を年度毎に交付し、その運営を支援した。					公立大学法人沖縄県立芸術大学の法人収入のみでは不足する運営に係る経費について、一般運営費交付金を年度毎に交付し、その運営を支援する。		
活動指標名	沖縄県立芸術大学への交付金の交付		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		沖縄県立芸術大学に一般運営費交付金を交付し、その運営を支援した。
	交付	交付	交付	交付	100. 0%	順調	

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
沖縄県立芸術大学に一般運営費交付金を交付し、その運営を支援した。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 引き続き、沖縄県立芸術大学に一般運営費交付金を年度毎に交付し、その運営を支援していく。	○ 沖縄県立芸術大学に一般運営費交付金を年度毎に交付し、その運営を支援した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	社会・経済情勢の変化や、沖縄県立芸術大学の財務状況等に留意しつつ、一般運営費交付金を交付する必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	引き続き、沖縄県立芸術大学に一般運営費交付金を年度毎に交付し、その運営を支援していく。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	②県民等の文化芸術活動の充実
			施策の小項目名	○文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくり
主な取組	国立劇場おきなわ鑑賞層拡大事業		対応する成果指標	国立劇場おきなわの入場者数
施策の方向	・高齢者や障害者、青少年をはじめ広く県民が、国内外の優れた文化芸術を鑑賞できる機会を拡充し、文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくりに取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
伝統芸能を鑑賞する機会の少ない層に向けて働きかけるとともに、伝統芸能を鑑賞する機会を提供する。	県,国立劇場おきなわ	伝統芸能を鑑賞する機会の少ない層に向けた働きかけ及び伝統芸能鑑賞機会の提供		
		鑑賞層を拡大するための支援件数(累計)		
		40件	40件(80件)	40件(120件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	https://www.nt-okinawa.or.jp/

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）						
(1) 取組の進捗状況						
(単位：千円)						
予算事業名				予算事業名		
国立劇場おきなわ鑑賞層拡大事業				琉球歴史文化芸術興隆事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	負担	1,585	891	県単等	委託	82,425
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
国立劇場おきなわの自主公演鑑賞団体を対象とした貸切バス費用の助成を実施した。				「琉球歴史文化の日」と関連させた若年層が文化資源に触れる機会を創出する。		
活動指標名	鑑賞層を拡大するための支援件数（累計）		R5年度			活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B	
	36件	57件	30件（87件）	40件（80件）	75.0%	国立劇場おきなわの自主公演を鑑賞することの少ない層が国立劇場おきなわの公演鑑賞に足を運ぶことを目的とし、国立劇場おきなわでの自主公演鑑賞団体を対象とした貸切バス費用の助成等を実施した。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果						
当初は、貸し切りバス費用の支援を40件予定していたが、運転手不足によって貸し切りバスが手配できないという状況になり、支援件数が30件、進捗状況は「概ね順調」となった。						
(2) これまでの改善案の反映状況						
令和5年度の取組改善案				反映状況		
○今後も鑑賞層の拡大につなげるため、引き続き自主公演鑑賞団体を対象とした貸切バス費用の助成等を実施する。				○鑑賞層の拡大のため貸切バスの費用助成を実施した。		

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	運転手不足によって貸し切りバスが手配できなかった。国立劇場おきなわの客層については、高齢化が課題となっており、新たな客層の開拓のためバスの手配以外の支援について検討が必要である。	⑥ 変化に対応した取組の改善	今後も運転手不足によって貸し切りバスの手配できない可能性があるため、新たな手法（公演、ワークショップ等）を検討し、鑑賞層の拡大につなげる取り組みを実施する。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	②県民等の文化芸術活動の充実
			施策の小項目名	○文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくり
主な取組	北部・離島地域における文化芸術体験機会の提供		対応する成果指標	国立劇場おきなわの入場者数
施策の方向	・高齢者や障害者、青少年をはじめ広く県民が、国内外の優れた文化芸術を鑑賞できる機会を拡充し、文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくりに取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
都市部と比較して実演家による文化芸術舞台公演に触れる機会の少ない北部・離島地域において、地域住民に対して専門家による文化芸術の鑑賞機会の提供を行うことで芸術の感動を体感できる環境づくりを行う。	県	北部・離島地域における文化芸術体験機会の提供		
		北部・離島地域における文化芸術体験機会の提供数（累計）		
		2公演	2公演（4公演）	2公演（6公演）
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

地域の文化芸術振興事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

県単等

委託

3,468

2,942

令和5年度活動内容

令和5年度は予定通り事業を実施し大宜味村・伊平屋村において各1公演を開催した。

予算事業名

地域の文化芸術振興事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

委託

3,000

令和6年度活動計画

令和6年度は北部・離島において各1公演を予定している。

活動指標名

北部・離島地域における文化芸術体験機会の提供数 (累計)

R3年度

R4年度

R5年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

2公演

3公演

2公演 (5公演)

2公演 (4公演)

100.0%

順調

令和5年度は、大宜味村・伊平屋村において歌舞劇の公演を行い、伊平屋村で221人、大宜味村で280人の集客があった。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和5年度は、計画数2公演に対し活動実績が2公演となり、達成割合100%となった。演目を国内外で高い評価を受けている歌舞劇「沖縄燦燦」とし、幅広い年齢層の方に優れた文化芸術を鑑賞してもらうことができた。周知広報については、公演市町村の教育委員会に後援依頼をし、村のHPや広報誌に掲載してもらった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○ 北部や離島で公演機会が少ないジャンルの公演を企画するなど、住民ニーズを踏まえた公演内容を検討する。
○ 企画提案公募の情報について、HPでの公表のほか、関係団体に周知するなど、積極的に広報・周知し、応募件数を増やす。

○公演内容を国内外で高い評価を受けている歌舞劇「沖縄燦燦」とした。
○公募の周知を強化した結果4件の応募があった。

- 65 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	より質の高い公演となるよう、住民ニーズを拾う必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	アンケート調査において住民ニーズを拾う項目を設ける。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	②県民等の文化芸術活動の充実
			施策の小項目名	○文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくり
主な取組	沖縄県芸術文化祭の実施		対応する成果指標	国立劇場おきなわの入場者数
施策の方向	・ 高齢者や障害者、青少年をはじめ広く県民が、国内外の優れた文化芸術を鑑賞できる機会を拡充し、文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくりに取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄の芸術文化の発展及び発展を担う人材を育成するため、作品を募集し、審査のうえ直接文化芸術に触れる機会を創出する。	県,文化振興会	沖縄県芸術文化祭にかかる広報及び観客誘致		
		沖縄県芸術文化祭【展示部門】及び【舞台部門】の観客数(累計)		
		6,000人	6,000人(12,000人)	6,000名(18,000人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名		沖縄県芸術文化祭事業費			予算事業名		沖縄県芸術文化祭事業費	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度			
					主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	負担	4,718	4,718		県単等	負担	4,718	
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画			
展示部門において499点の作品の応募があった。 展示場へ、延べ7000人の来場があり、多くの県民に文化芸術に 触れる機会を提供できた。					沖縄の芸術文化の発展及び発展を担う人材を育成するため、 作品を募集し、審査のうえ直接文化芸術に触れる機会を創出す る。			

活動指標名	沖縄県芸術文化祭【展示部門】 及び【舞台部門】の観客数（累 計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		沖縄の芸術文化の発展及び発展を担う人材を育 成するため、作品を募集し、審査のうえ直接文化 芸術に触れる機会を創出した。
	5,440人	6,157人	7,000人（13,157人）	6,000人（12,000人）	100.0%	順調	

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
展示部門において、目標値を上回る来場があったことから、多くの県民に文化芸術に触れる機会を提供できたと考え、順調と判定としている。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
引き続き、県広報誌への掲載やコンビニエンスストアのチラシ配布、県広報課でのツイッターでの配信等の取り組みを行う。	特に若い世代と芸術鑑賞になじみのない層にアプローチするため、県広報誌への掲載やコンビニエンスストアのチラシ配布の依頼の取り組みを行った。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	沖縄県芸術文化祭において、観客者数を増やすためには、特に若い世代と芸術鑑賞になじみのない層にアプローチする必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	引き続き、県広報誌への掲載やコンビニエンスストアへのチラシ配布、県広報課ツイッターでの配信等の取り組みを行う。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	②県民等の文化芸術活動の充実
			施策の小項目名	○文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくり
主な取組	九州芸術祭（舞台公演）の実施		対応する成果指標	国立劇場おきなわの入場者数
施策の方向	・高齢者や障害者、青少年をはじめ広く県民が、国内外の優れた文化芸術を鑑賞できる機会を拡充し、文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくりに取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
芸術文化の発展を担う人材の育成を図ることや県民に国の重要無形文化財である組踊や琉球舞踊等、伝統芸能の鑑賞機会を広く提供することを目的に、舞台公演として重要無形文化財保持者等公演を実施する。	県文化振興会	九州芸術祭における舞台公演の実施		
		舞台公演数(累計)		
		1公演	1公演(2公演)	1公演(3公演)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名九州芸術祭事業費

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

県単等

負担

1,350

1,350

令和5年度活動内容

舞台公演として重要無形文化財保持者等公演を令和5年11月1日に金武町立中央公民館で行った。

予算事業名九州芸術祭事業費

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

負担

1,350

令和6年度活動計画

舞台公演として重要無形文化財保持者等公演を実施する。

活動指標名

舞台公演数（累計）

R3年度

R4年度

0公演

1公演

R5年度

実績値(A)

目標値(B)

1公演（2公演）

1公演（2公演）

達成割合
A/B

100.0%

進捗状況

順調

活動概要

芸術文化の発展を担う人材の育成を図ることや県民に国の重要無形文化財である組踊や琉球舞踊等、伝統芸能の鑑賞機会を広く提供することを目的に、舞台公演として重要無形文化財保持者等公演を実施している。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和4年度に引き続き、重要無形文化財保持者公演を行い、多くの県民に文化芸術に触れる機会を提供できたと考え、順調と判定としています。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

公演の開催地域については、沖縄県全域に沖縄芸術文化を広く提供できるように、選定する。

反映状況

芸術文化に触れる機会が比較的少ない北部地域で重要無形文化財保持者公演を行った。

- 71 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	沖縄芸術文化の幅広い地域での発展のために、公演を行う地域については、工夫を行う必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	沖縄県全域に沖縄芸術文化を広く提供できるよう公演の開催地域を選定する。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	②県民等の文化芸術活動の充実
			施策の小項目名	○文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくり
主な取組	県内市町村等の文化芸術に対する支援の促進		対応する成果指標	国立劇場おきなわの入場者数
施策の方向	・高齢者や障害者、青少年をはじめ広く県民が、国内外の優れた文化芸術を鑑賞できる機会を拡充し、文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくりに取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
文化芸術の持続的な振興のために、企業等の文化芸術に対する支援を促進し、芸術家等の活動基盤の発展に取り組む。	県,市町村,民間団体	一般財団法人地域創造が行う助成事業等の活用		
		県内における助成事業の採用件数(累計)		
		3件	3件(6件)	3件(9件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

芸術・文化推進事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

県単等

負担

11, 157

10, 515

令和5年度活動内容

地方公共団体が行う文化事業等に対する財政支援や地域の文化環境づくりを目的としたモデル事業を実施している財団法人地域創造に負担金を拠出した。

予算事業名

芸術・文化推進事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

負担

10, 515

令和6年度活動計画

引き続き、財団法人地域創造に負担金を拠出する。

活動指標名

県内における助成事業の採用件数（累計）

R3年度

R4年度

3件

5件

R5年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

4件（9 件）

3 件（6 件）

100. 0%

進捗状況

順調

活動概要

財団法人地域創造は、地方公共団体等の自主事業の企画制作能力の向上及び公立文化施設の利活用の推進等を図るため、文化に係わる様々な事業を支援している。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和5年度は、助成事業の採用件数は4件となり、地方公共団体等の自主事業の企画制作能力の向上及び公立文化施設の利活用推進に寄与したものとする。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

引き続き文化の基層であり、地域ごとに特色がある市町村の地域の伝統芸能等を集めた公演等の自主事業を支援する。

反映状況

助成事業を行っている地域創造の連絡調整を継続し、地方公共団体等の文化振興の発展を支援した。

- 74 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	文化の担い手は小さい団体が多く、独力では企画能力等の人材育成に限界がある	② 連携の強化・改善	引き続き文化の基層であり、地域ごとに特色がある市町村の地域の伝統芸能を集めた公演等の自主事業を支援する。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	②県民等の文化芸術活動の充実
			施策の小項目名	○「美ら島おきなわ文化祭2022」の開催
主な取組	美ら島おきなわ文化祭2022の開催に向けた取組		対応する成果指標	国立劇場おきなわの入場者数
施策の方向	・ 2022年に開催する「美ら島おきなわ文化祭2022」の成功に向けて、市町村、関係機関、県民等一丸となって取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県主催事業:総合フェスティバル開閉会式、沖縄文化発信事業、シンポジウム国際交流事業、障がい者交流事業	県	美ら島おきなわ文化祭2022の開催		
		美ら島おきなわ文化祭2022(国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭)の開催に向けた取組		
		実施	—	—
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	美ら島おきなわ文化祭2022開催事業			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	
		県単等	その他	
令和5年度活動内容				
公式記録及び実施内容などについての問合せ対応				

(単位：千円)

予算事業名	美ら島おきなわ文化祭2022開催事業		
R6年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
—	—		
令和6年度活動計画			
公式記録及び実施内容などについての問い合わせ対応			

活動指標名	美ら島おきなわ文化祭2022（国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭）の開催に向けた取組		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	0	実施	—	—	100.0%	順調	県内市町村、全国の文化団体等と連携し、沖縄文化の発信と継承、発展に係る事業を行った。

様式 1 （主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和 4 年10月22日から11月27日までの37日間開催され、県内全市町村で164事業が開催され、58万人の来場者があった。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
沖縄文化芸術振興計画において、沖縄大会での経験や体験を活かし、県民等の文化芸術活動の充実や、文化芸術交流の推進に取り組む。	沖縄文化芸術振興計画において、沖縄大会での経験や体験を活かし、県民等の文化芸術活動の充実や、文化芸術交流の推進に取り組んだ。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	今大会での経験や体験、新たな発見を、県民の文化芸術活動の充実や文化芸術交流の推進として、未来への新たな創造に繋げていけるかが課題	⑧ その他	沖縄文化芸術振興計画において、沖縄大会での経験や体験を活かし、県民等の文化芸術活動の充実や、文化芸術交流の推進に取り組む。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	③文化資源を活用した地域づくり
			施策の小項目名	○県内各地で開催されている伝統芸能や地域行事の積極的な発信
主な取組	琉球歴史文化の日周知啓発推進事業		対応する成果指標	県内の文化芸術に関する取組を行う団体等への支援件数
施策の方向	・地域の歴史、伝統的風習、伝統行事等に対する住民の愛着心を醸成し、地域外との交流を通じた地域文化の掘り起こしに加え、県内各地で開催されている伝統芸能や地域行事の積極的な発信に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
「琉球歴史文化の日」とその趣旨の周知啓発を図るため、関連するイベント情報を載せたサイトを作成する。市町村および関係団体に、そのサイトへの情報掲載や琉球歴史文化の日ロゴマークの使用が可能な事業(那覇ハーリー等)の調査(琉球歴史文化の日事業として連携可能な事業の調査)をする。	県,市町村,民間団体	歴史・文化関連事業及び催物の開催		
		歴史・文化関連事業及び催物件数(累計)		
		100件	110件(210件)	120件(330件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）						
(1) 取組の進捗状況						
(単位：千円)						
予算事業名				予算事業名		
琉球歴史文化の日周知啓発推進事業				琉球歴史文化芸術興隆事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	10,155	17,705	県単等	委託	82,425
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための広報活動と、県民が沖縄の歴史と文化への理解を深めるための関連事業を実施した。				琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための広報活動と、県民が沖縄の歴史と文化への理解を深めるための関連事業を実施する。		
活動指標名	歴史・文化関連事業及び催物件数（累計）		R5年度			進捗状況
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B	
	88件	105件	52件（157件）	110件（210件）	47.3%	大幅遅れ
活動概要						
市町村および関係団体に対し、琉球歴史文化の日の特設サイトへの情報掲載や琉球歴史文化の日ロゴマークの使用が可能な事業の調査をし、那覇ハーリー等と連携し琉球歴史文化の日の関連事業として実施した。						

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
市町村や関連団体の歴史文化関連事業の調査および琉球歴史文化の日事業としての連携の可否を確認する前に事業が終了しているものがあり、進捗に遅れがあった。市町村や関連団体とともに関連事業を実施することにより、県民の沖縄の歴史と文化への理解を深められた。また、故郷への誇りや愛着を感じられる地域社会の形成に取り組むとともに、新たな歴史と文化を県民自らの手で創造していくことを図ることができた。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の実施改善案	反映状況
引き続き、市町村や関連団体と連携するとともに、情報発信を強化していく。	県のみならず市町村や関連団体等に幅広く取組を募り情報発信した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	市町村や関連団体の歴史文化関連事業の調査および琉球歴史文化の日事業としての連携の可否の調査をする前に事業が終了しているものがあったため、調査を早め実施する必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	事業の調査時期を早めることにより実施件数を増やし、関連団体と連携するとともに、情報発信を強化していく。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	③文化資源を活用した地域づくり
			施策の小項目名	○地域の個性豊かな文化資源の特性に応じたまちづくりに資する取組の推進
主な取組	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップに関する取組		対応する成果指標	県内の文化芸術に関する取組を行う団体等への支援件数
施策の方向	・ 地域に伝承するエイサー等の伝統行事や地域の食文化など、地域の個性豊かな文化資源の特性に応じたまちづくりに資する取組を推進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
文化資源を活用した文化体験プログラムを構築し実施する。	県	文化資源を活用した体験プログラムの構築・実施		
		文化体験プログラムの実施回数（累計）		
		10回	10回（20回）	10回（30回）
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

委託

27, 409

25, 340

令和5年度活動内容

選定した文化団体を県内施設へ派遣し、演舞やワークショップを実施した。

予算事業名

文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

委託

17, 160

令和6年度活動計画

選定した文化団体を県内施設へ派遣し、演舞やワークショップを開催する。

活動指標名

文化体験プログラムの実施回数
(累計)

R5年度

進捗状況

活動概要

実績値

R3年度

R4年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

—

6回

4回 (10回)

10回 (20回)

40. 0%

大幅遅れ

文化団体派遣に係る周知 (チラシの作成・配布、HP・SNS・イベントでの周知、電話・訪問営業)・案内を行い、県内施設へ派遣を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

夏場の観光シーズンに向けた事業周知が遅れた他、当初の周知先が少なかったため、観光シーズン中の派遣ができなかった。また、当事業による派遣報酬が低額であったため派遣合意に至らない事例が生じた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○演者同士の繋がりや、派遣時期を早めに調整するなどし、実施回数の目標値を達成できるよう努める。

派遣時期を早めに調整するため、6月から事業周知を開始したが、観光シーズンを加味するとさらに早い時期での周知が必要だった他、当初の周知先が少なかったため、派遣実施が遅れた。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	事業の周知開始時期及び周知先を見直す他、文化団体の派遣報酬額についても検討が必要。	⑧ その他	事業周知時期を早め、周知先も増加させる。その他、文化団体の派遣報酬額を見直す等により、文化団体の派遣に繋がるモデルの構築を目指す

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	③文化資源を活用した地域づくり
			施策の小項目名	○地域の個性豊かな文化資源の特性に応じたまちづくりに資する取組の推進
主な取組	琉球料理伝承人派遣事業（出前講座）		対応する成果指標	県内の文化芸術に関する取組を行う団体等への支援件数
施策の方向	・ 地域に伝承するエイサー等の伝統行事や地域の食文化など、地域の個性豊かな文化資源の特性に応じたまちづくりに資する取組を推進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
琉球料理伝承人派遣事業（出前講座）を実施する。	県	琉球料理伝承人派遣事業（出前講座）の実施		
		琉球料理伝承人出前講座への参加者数（累計）		
		100人	100人（200人）	100人（300人）
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

沖縄食文化保存普及継承事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

委託

19,537

20,997

令和5年度活動内容

沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、琉球料理伝承人出前講座を実施した。

予算事業名

沖縄食文化保存普及継承事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

委託

18,348

令和6年度活動計画

沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、琉球料理伝承人出前講座を実施する。

活動指標名

琉球料理伝承人出前講座への参加者数 (累計)

R5年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

R3年度

R4年度

97人 (242人)

100人 (200人)

97.0%

順調

沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、学校関係者、食関連業界団体及び修学旅行関係者等向けに琉球料理伝承人出前講座を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

琉球料理伝承人出前講座を通じ、学校関係者、食関連業界団体及び修学旅行関係者等に琉球料理の情報を発信し、沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承が図られた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○ 沖縄の伝統的な食文化について、伝承人活動を強化するなどこれまで以上にPR活動に尽力する。

学校関係者、食関連業界団体及び修学旅行関係者等複数のジャンルの団体に出前講座を実施することにより、幅広く情報発信を行った。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	沖縄の伝統的な食文化は若い世代を中心とした伝統料理離れが進み失われつつある中、沖縄の伝統的な食文化に関する認知度は依然低い状況となっている。	⑧ その他	沖縄の伝統的な食文化について、传承人活動を強化するなどこれまで以上にPR活動に尽力する。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	③文化資源を活用した地域づくり
			施策の小項目名	○地域の個性豊かな文化資源の特性に応じたまちづくりに資する取組の推進
主な取組	日本遺産普及啓発事業		対応する成果指標	県内の文化芸術に関する取組を行う団体等への支援件数
施策の方向	・ 地域に伝承するエイサー等の伝統行事や地域の食文化など、地域の個性豊かな文化資源の特性に応じたまちづくりに資する取組を推進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県、市町村及び関係団体が実施する日本遺産関連イベント等の発信を行う。	県、市町村、関係団体等	県、市町村及び関係団体が実施する日本遺産関連イベント等の発信		
		Webサイトでの情報発信件数（累計）		
		12件	12件（24件）	12件（36件）
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

琉球文化日本遺産事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

県単等

負担

1,400

1,400

令和5年度活動内容

琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に
広く発信し、観光資源としての活用を促した。

予算事業名

琉球文化日本遺産事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

負担

1,400

令和6年度活動計画

琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に
広く発信し、観光資源としての活用を促す。

活動指標名

Webサイトでの情報発信件数 (累計)

R3年度

R4年度

R5年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

—

11件

10件 (21件)

12件 (24件)

83.3%

概ね順調

ホームページを活用し、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を促した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

ホームページを活用し、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を促すことにより、地域の活性化及び観光振興につながった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○ 引き続き、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信していく。

琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信するため、構成団体が主催のイベント等の情報発信を合わせて行った。

- 89 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	令和6年度に日本遺産認定継続の審査を控えており、引き続き、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信していく必要がある。	⑧ その他	引き続き、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信していく。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	③文化資源を活用した地域づくり
			施策の小項目名	○文化芸術活動を支える仕組みの充実
主な取組	文化芸術関係団体等への助成		対応する成果指標	県内の文化芸術に関する取組を行う団体等への支援件数
施策の方向	・文化関係団体や企業の文化芸術活動に対する支援を促進し、社会全体で文化芸術活動を支える仕組みの充実に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内の文化関係団体等を対象として①文化芸術団体等の組織力向上・基盤強化に資する取組、②文化芸術を次代に引き継ぐ新たな創造発信を伴う取組、③文化芸術を通じて地域の諸課題解決や活性化の促進等に寄与する取組を採択し支援する。	県	県内文化芸術活動の持続的発展に資する取組		
		県内文化芸術団体等への助成件数(累計)		
		22件	22件(44件)	22件(66件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

沖縄文化芸術の創造発信支援事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

補助

74,499

73,874

令和5年度活動内容

県内の文化関係団体等が実施する取組21件を採択し支援した。

予算事業名

沖縄文化芸術の創造発信支援事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

補助

85,000

令和6年度活動計画

引き続き、県内文化芸術活動の持続的発展に資する取組等を公募、審査、採択し、支援を行う。

活動指標名

県内文化芸術団体等への助成件数 (累計)

R3年度

R4年度

R5年度

実績値

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

順調

活動概要

県内文化芸術活動の持続的発展に資する取組等を公募、審査、採択し、支援を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県内文化関係団体等による取組等を公募、審査、採択し、支援を行うことで、本県の多様で豊かな地域の伝統芸能や文化芸術等の文化資源を活用した文化芸術活動の持続的発展を図ることができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○ 引き続き、文化芸術関係団体等へのハンズオン支援を行うとともに、文化芸術資源を活用する新たな取組の創出に向けた広報・相談等を行うことにより、文化芸術活動を支える仕組みを充実させる。
○ 県内アーティスト等の多様な活躍の場を設けるため文化芸術人材バンクの運用を開始する。また、文化芸術に携わる人材の育成を目的とする担い手育成講座を実施する。

○ メールニュースを配信するなど広報・相談等を充実させた。
○ 文化芸術人材バンク「沖縄県文化名鑑」を開始した。また、担い手育成プログラムを全9回のレクチャープログラムとして開催した。

- 92 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	県には多様で豊かな文化資源がある一方で、伝統芸能の実演家やアーティストが活躍できる場が少なく、文化芸術創造活動を支える仕組みが十分とはいえないことから、取組を更に充実させる必要がある。	⑦ 取組の時期・対象の改善	引き続き、文化芸術関係団体等へのハンズオン支援を行うとともに、助成する県内文化芸術団体等が事業実施期間をより確保できるよう、補助対象期間の設定について検討を重ねていく。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	④文化芸術活動を支える基盤の強化
			施策の小項目名	○文化芸術活動の場の創出及び文化発信交流拠点の充実
主な取組	沖縄県立博物館・美術館の管理運営		対応する成果指標	県内文化施設の稼働状況
施策の方向	・国立劇場おきなわや沖縄県立博物館・美術館、その他の文化芸術施設及び文化芸術施設以外の公共の施設を活用した文化芸術活動の場の創出と、伝統芸能、郷土芸能、大衆芸能等の多様な文化芸術や文化産業等の振興にも寄与する文化発信交流拠点の充実に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄の文化芸術発信拠点として、博物館・美術館の利活用促進を図るため、各種展示・関連催事等の魅力アップ、調査研究活動の充実、情報発信の強化等、県民や観光客を惹きつける博物館・美術館作りに取り組む。また、来館者が安全・快適に施設を利用できるよう施設・設備の保全修繕に努める。	県	来館者の増加に向けた周知広報等の取組		
		来館者数(累計)		
		21万人	33万人(54万人)	50万人(104万人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名		博物館・美術館費			予算事業名		博物館・美術館費	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度			
					主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	直接実施	78,615	95,683		県単等	直接実施	90,013	
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画			
常設展・コレクション展のほか企画展・特別展を計8回開催するほか、県民を対象とした学芸員講座、バックヤードツアー等を引き続き実施した。					常設展・コレクション展のほか企画展・特別展を計7回開催するほか、県民を対象とした学芸員講座、バックヤードツアー等を引き続き実施する。			

活動指標名	来館者数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	14万人	32.7万人	48.8万人（81.5万人）	33万人（54万人）	100.0%	順調	収蔵資料を展示する常設展・コレクション展のほか、企画展・特別展を計8回開催した。また、学芸員講座、バックヤードツアー、文化講座等を実施した。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
沖縄の自然や歴史・芸術文化等に関する常設展・コレクション展や、本県の自然や歴史、芸術文化を再考する特別展等の開催、関連イベントや学芸員講座など多彩な催事に取り組んだ。令和5年度は新型コロナウイルス感染症の法的取り扱いが変わるとともに、世界的に感染者数も減少したことにより、コロナ禍前と同様に各種取り組みを進めたことから来館者数の目標値を大幅に上回る結果となった。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の実施改善案	反映状況
○県民等へのサービス向上・利用促進のため、施設設備の稼働状況を随時確認しながら、必要な緊急修繕等を行いつつ、緊急度・優先度を勘案しながら計画的な修繕・更新を行う。 ○指定管理者と連携し、県内外のお客様や、県内小中高大の児童生徒・学生や、学校関係者等の利用促進を図るため、情報発信、周知広報に努める。	○施設設備の稼働状況を随時確認しながら、必要な緊急修繕等を行いつつ、関係課と連携し、緊急度・優先度を勘案しながら計画的な修繕・更新を行うための基本設計を実施した。 ○県民が利用しやすい環境の整備として、老朽化のため不具合・故障等が生じていた傘立て等の更新、その他館内設備の修繕等を実施した。 ○指定管理者と連携し、来館者増を図るため、WebやSNS等を活用した当館実施イベントの広報発信等に取り組んだ。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	開館から16年が経過し、空調設備等をはじめ施設・設備の経年劣化等による不具合・故障等が増えている状況にあり、館の安定的な管理運営に支障を生じさせる可能性がある。	⑧ その他	施設設備の稼働状況を随時確認しながら、必要な緊急修繕等を行いつつ、緊急度・優先度を勘案しながら計画的な修繕・更新を行う。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	④文化芸術活動を支える基盤の強化
			施策の小項目名	○文化芸術活動の場の創出及び文化発信交流拠点の充実
主な取組	美術館資源発信基盤整備事業		対応する成果指標	県内文化施設の稼働状況
施策の方向	・国立劇場おきなわや沖縄県立博物館・美術館、その他の文化芸術施設及び文化芸術施設以外の公共の施設を活用した文化芸術活動の場の創出と、伝統芸能、郷土芸能、大衆芸能等の多様な文化芸術や文化産業等の振興にも寄与する文化発信交流拠点の充実に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)		実施 主体	年度別計画		
			活動指標(アウトプット)		
			R4	R5	R6
美術館が保管している膨大な二次資料をオンラインで公開・周知できるよう整理し、発信基盤を整備する。		県	美術館収集資料の整理・アーカイブ化	美術館収集資料の整理・アーカイブ化、美術館資料データベースの構築	
			美術館収集資料のデータベース構築に向けた資料群の整理件数(累計)		
			2件	2件(4件)	2件(6件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課【098-866-2768】		関連URL	—	

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	美術館資源発信基盤整備事業			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	
		県単等	直接実施	

令和5年度活動内容

資料群の整理を2件行った。web型システムパッケージの導入については、技術的諸条件等に適合する業者が今後新規契約を行わないことを確認した。

(単位：千円)

予算事業名	美術館資源発信基盤整備事業		
R6年度			
主な財源	実施方法		当初予算額
県単等	直接実施	5,451	

令和6年度活動計画

引き続き、二次資料情報に係る資料群の整理を行うとともに、web型システムパッケージの導入に向けた取組・検討を進める。

活動指標名	美術館収集資料のデータベース構築に向けた資料群の整理件数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	—	2件	2件（4件）	2件（4件）	100.0%	順調	

美術館が保管している膨大な二次資料情報に係る資料群の整理（梱包単位に分類した上でリスト化を行い、出納ができる状況に整理）を2件行った。

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
リストの整備が完了することにより、資料群の出納が可能になり、資料の利活用が可能な状態を整備できた。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○館全体として効果的・効率的なシステム構築を図るため、各分野の閲覧・情報発信システムの共用可能な機能確保の検討など、博物館および美術館が協働してシステムの見直し・更新に向けた検討を進める。	○館全体として効果的・効率的なシステム構築を図るため、各分野の閲覧・情報発信システムの共用可能な機能確保を検討する前提として、他館事例の収集を行い、検討資料の作成に備えた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	館の収蔵資料等に係る各分野の検索・情報発信システムがIT技術の進歩等により相対的に旧式化しており、利用者の利便性の向上の観点から、館全体として見直し・更新を進める必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	館全体として効果的・効率的なシステム構築を図るため、各分野の閲覧・情報発信システムの共用可能な機能確保の検討など、博物館および美術館が協働してシステムの見直し・更新に向けた検討を進める。
⑦ その他(改善余地の検証等)	web型システムパッケージの導入については、確認を進めていた技術的諸条件等に適合する業者が今後新規契約を行わないこととなり、令和6年度において必要な予算を確保することができなかった。	⑦ 取組の時期・対象の改善	資料群の整理を継続しながら令和6年度においてweb型システムパッケージの導入に向けた技術的諸条件等の再検討や適合業者等の情報を収集し、令和7年度以降の導入に向けた取組・予算確保につなげていく。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	④文化芸術活動を支える基盤の強化
			施策の小項目名	○文化芸術活動の場の創出及び文化発信交流拠点の充実
主な取組	琉球歴史文化の日に歴史文化に関する取組を行う催物等への公共施設の無料開放		対応する成果指標	県内文化施設の稼働状況
施策の方向	・ 国立劇場おきなわや沖縄県立博物館・美術館、その他の文化芸術施設及び文化芸術施設以外の公共の施設を活用した文化芸術活動の場の創出と、伝統芸能、郷土芸能、大衆芸能等の多様な文化芸術や文化産業等の振興にも寄与する文化発信交流拠点の充実に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
琉球歴史文化の日に歴史文化に関する取組を行う催物等への公共施設の無料開放を実施する。	県	琉球歴史文化の日県有施設の無料開放		
		琉球歴史文化の日に県有施設で実施する歴史文化関連催物件数(累計)		
		10件	10件(20件)	10件(30件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）						
(1) 取組の進捗状況						
(単位：千円)						
予算事業名				予算事業名		
琉球歴史文化の日周知啓発推進事業				琉球歴史文化芸術興隆事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	10,155	17,752	県単等	委託	82,425
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための広報活動と、関連事業を実施するとともに、県有施設の無料開放した。				琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための広報活動と、関連事業を実施するとともに、県有施設の無料開放する。		
活動指標名	琉球歴史文化の日に県有施設で実施する歴史文化関連催物件数 (累計)		R5年度			進捗状況
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B	
実績値	—	5件	4件(9件)	10件(20件)	40.0%	大幅遅れ
活動概要						
市町村や関連団体とともに歴史と文化への理解を深めるための関連事業を実施した。						

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
琉球歴史文化の日（11月1日）に一部県有施設の使用料および観覧料を免除することとしているが、歴史文化関連催物での活用が進んでいない。11月1日が平日であったことに加え、使用料の免除に係る周知不足が要因と考えられる。	
（2）これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の実施改善案	反映状況
○ 琉球歴史文化の日（11月1日）の広報に併せ、施設の使用料免除等を周知していく。	○ 琉球歴史文化の日（11月1日）の広報に併せ、施設の使用料免除等を周知した。

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	使用料減免に係る周知広報等の不足	⑤ 情報発信等の強化・改善	琉球歴史文化の日（11月1日）の広報（Webサイトの作成等）に併せ、施設の使用料免除等を周知していく。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	④文化芸術活動を支える基盤の強化
			施策の小項目名	○文化芸術活動の場の創出及び文化発信交流拠点の充実
主な取組	文化発信交流拠点の充実		対応する成果指標	県内文化施設の稼働状況
施策の方向	・国立劇場おきなわや沖縄県立博物館・美術館、その他の文化芸術施設及び文化芸術施設以外の公共の施設を活用した文化芸術活動の場の創出と、伝統芸能、郷土芸能、大衆芸能等の多様な文化芸術や文化産業等の振興にも寄与する文化発信交流拠点の充実に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
文化芸術活動の基盤を強化するため、文化施設等に対する調査を実施し、文化発信交流拠点の充実のために必要となる施策を検討する。	県	文化発信交流拠点の充実		
		文化発信交流拠点の充実に向けた取組		
		調査等実施	調査等実施	調査等実施
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

文化発信交流拠点整備事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

県単等

委託

0

6,098

令和5年度活動内容

県内文化施設の稼働率について調査を実施した。また、文化発信交流拠点の充実に係る調査委託業務を実施した。

予算事業名

文化発信交流拠点整備事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

直接実施

173

令和6年度活動計画

引き続き、県内文化施設の稼働率について調査を行う。

活動指標名

文化発信交流拠点の充実に向けた取組

R5年度

R3年度

R4年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

-

調査等実施

調査等実施

調査等実施

100.0%

順調

県内文化施設の稼働率について調査を実施するとともに、今後の取組について検討を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県内文化施設の稼働率について、調査を実施したことから、進捗状況は順調と判定した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○ 文化発信交流拠点の充実に係る調査を実施し、必要な施策を検討する。

文化発信交流拠点の充実に係る調査委託業務を実施した。

- 104 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	県内文化施設の令和4年度の稼働率を調査したところ、約55%の稼働率で、前年度から大幅な改善がみられた。引き続き、文化施設の稼働率を向上させる取組の検討が必要である。	⑧ その他	文化施設の稼働率を向上させる取組の検討を行う。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	④文化芸術活動を支える基盤の強化
			施策の小項目名	○社会全体で文化活動を支える環境づくり
主な取組	企業の文化芸術に対する支援の促進		対応する成果指標	県内文化施設の稼働状況
施策の方向	・ NPO、文化ボランティア活動、企業等の芸術文化支援を促進するなど、社会全体で文化活動を支える環境づくりに取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
文化芸術の持続的な振興のために、企業等の文化芸術に対する支援を促進し、芸術家等の活動基盤の発展に取り組む。	県,企業	県外の財団等が行う文化に関する助成等の活用促進		
		県外の財団等が、県内の文化団体等へ対して行う助成等の件数（累計）		
		6件	6件（12件）	6件（18件）
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名	芸術・文化推進事業				予算事業名	芸術・文化推進事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度			
					主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	負担	11, 157	10, 515		県単等	負担	10, 515	
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画			
地方公共団体が行う文化事業等に対する財政支援や地域の文化環境づくりを目的としたモデル事業を実施している財団法人地域創造に負担金を拠出した。					引き続き、財団法人地域創造に負担金を拠出する。			

活動指標名	県外の財団等が、県内の文化団体等へ対して行う助成等の件数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		財団法人地域創造は、地方公共団体等の自主事業の企画制作能力の向上及び公立文化施設の利活用の推進等を図るため、文化に係わる様々な事業を支援している。
	6件	10件	15件 (25件)	6 件 (12件)	100. 0%	順調	

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和5年度は、助成事業の採用件数は15件となり、地方公共団体等の自主事業の企画制作能力の向上及び公立文化施設の利活用推進に寄与したものとする。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の実施改善案	反映状況
引き続き文化の基盤であり、地域ごとに特色がある市町村の地域の伝統芸能等を集めた公演等の自主事業を支援する。	助成事業を行っている県外の財団等の連絡調整を継続し、地方公共団体等の文化振興の発展を支援した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	文化の担い手は小さい団体が多く、独力では企画能力等の人材育成に限界がある	② 連携の強化・改善	引き続き文化の基盤であり、地域ごとに特色がある市町村の地域の伝統芸能等を集めた公演等の自主事業を支援する。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	①沖縄空手の指導者及び後継者の育成
			施策の小項目名	○沖縄空手を支える道場や関係団体の運営基盤の強化
主な取組	関係団体の自主事業に対する支援		対応する成果指標	県内空手道場における門下生数（１道場あたりの平均）
施策の方向	・沖縄空手を支える道場や関係団体の運営基盤の強化を図り、次世代を担う指導者及び後継者の育成並びに県民が沖縄空手に接する機会の創出等に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
空手を活用した産業の創出・振興を図るため、空手関係団体(沖縄伝統空手道振興会)におけるライセンスビジネス等の産業連携事業構築に向けた調査検討と取組推進を図る。	県	関係団体が実施する自主事業に対する支援		
		関係団体が実施する自主事業に対する支援件数(累計)		
		1件	1件(2件)	1件(3件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課【098-866-2232】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）						
(1) 取組の進捗状況						
(単位：千円)						
予算事業名				予算事業名		
沖縄県空手振興事業（沖縄空手産業連携構築支援事業）				沖縄県空手振興事業（沖縄空手産業連携構築支援事業）		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	補助	695	1,757	一括交付金 （ソフト）	補助	2,000
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
沖縄伝統空手道振興会が行う沖縄空手オリジナルキャラクターの制作、商標登録、ネーミング募集・決定・表彰等に対して、経費の補助を行った。				沖縄伝統空手道振興会の自主事業構築に向けたライセンスビジネス等の調査検討および支援（1件）を行う。		
活動指標名	関係団体が実施する自主事業に対する支援件数（累計）		R5年度			進捗状況
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B	
実績値	—	1件	1件（2件）	1件（2件）	100.0%	順調
活動概要 沖縄空手オリジナルキャラクターの制作、商標登録、ネーミング募集・決定・表彰等に対する補助を行い、順調に取組を推進できた。						

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
自主事業に対する支援1件を達成し、順調に取組を推進している。 沖縄空手オリジナルキャラクターの制作及び商標登録等に対する支援を行うことによって、ライセンスビジネスの構築に寄与した。また、今後は、制作したキャラクターを活用した商品開発を行う予定であり、自主事業の構築を図っている。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の実施改善案	反映状況
○沖縄伝統空手道振興会において、ロゴマークの取り扱いについて規程を整備する。県においては、振興会への助言等を行い、ロゴマークを活用したライセンス事業の構築を支援する。 ○令和5年度は、沖縄空手のオリジナルキャラクターを活用したライセンス事業について検討する。	○沖縄伝統空手道振興会において、ロゴマークの取り扱いについて規程を整備した。県においては、県や沖縄空手世界大会実行委員会が使用する場合の取り扱いなどについて、適宜内容を確認・調整した。 ○令和5年度は、沖縄空手オリジナルキャラクターの制作、商標登録、ネーミング募集・決定・表彰等に対する補助を行い、順調に取組を推進できた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	今後、沖縄空手オリジナルキャラクターを活用した商品開発などを行っていく前に、キャラクターの認知度向上を図る必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	8月に開催される沖縄空手少年少女世界大会や沖縄空手の普及啓発イベント等に登場させ、キャラクターの認知度向上を図る。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	①沖縄空手の指導者及び後継者の育成
			施策の小項目名	○沖縄空手の技及び精神性の継承並びに指導体制の確立
主な取組	指導者の育成		対応する成果指標	県内空手道場における門下生数（１道場あたりの平均）
施策の方向	・継承プログラムや指導体系書の策定のほか、各流派や道場間での技術講習会・情報交換会の開催等を行い、沖縄空手の技及び精神性の継承並びに指導体制の確立に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄空手の技法や精神性の保存・継承と普及・啓発を図るため、流派別に体系書の策定や審判講習会の開催等を行い、伝統的な指導法を正しく身につけた指導者を継続的に育成する。	県	伝統的な指導法を身につけた指導者の育成		
		指導者の育成に係る取組の実施(累計)		
		指導体系書策定1件	講習会等開催4回	講習会等開催4回(8回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)				
予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手流派指導体制構築事業）				予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手流派指導体制構築事業）			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度				
					主な財源	実施方法	当初予算額		
一括交付金 （ソフト）	委託	14, 623	9, 623		一括交付金 （ソフト）	委託	10, 136		
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画				
伝統的な鍛錬法や技法を次世代へ確実に継承していくため、各流派毎に審判講習会を実施し、新たに海外派遣向けの指導体系書を策定した。					審判講習会を定期的の実施するとともに、若手空手家の海外・県外渡航費を補助し、海外・県外での指導ノウハウを継承する。				
活動指標名	指導者の育成に係る取組の実施 （累計）		R5年度			進捗状況	活動概要		
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		伝統的な鍛錬法や技法を次世代へ確実に継承していくため、各流派毎に審判講習会を実施した。		
	—	1件	審判講習会開催6回	講習会等開催 4 回	100. 0%	順調			

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和5年度は、各流派毎に審判講習会を各6回実施するとともに、新たに海外派遣向けの指導体系書を策定し、計画通りの進捗であったことから順調と判断した。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
沖縄伝統空手道振興会において、各流派ごとに、型の確認や会派別で異なる所作についての許容範囲を把握するための審判講習会を開催するにあたり、スケジュールやプログラムを作成するための人員配置を行う。	沖縄伝統空手道振興会において、スケジュールやプログラムを作成するための人員を配置して、各流派ごとに型の確認や会派別で異なる所作についての許容範囲を把握するための審判講習会を開催した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	これまでの講習会及び世界大会等をとおり、指導体制のノウハウが一定程度確立されてきた。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	今後は、さらなる発展に向けて、審判講習会のあり方について検討を進める。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	①沖縄空手の指導者及び後継者の育成
			施策の小項目名	○沖縄空手の技及び精神性の継承並びに指導体制の確立
主な取組	国内への指導者の派遣		対応する成果指標	県内空手道場における門下生数（１道場あたりの平均）
施策の方向	・継承プログラムや指導体系書の策定のほか、各流派や道場間での技術講習会・情報交換会の開催等を行い、沖縄空手の技及び精神性の継承並びに指導体制の確立に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄伝統空手道振興会等の空手関係団体と連携し、海外2カ国程度、国内1都道府県へ指導者を派遣し現地でセミナー等を実施する。	県	国内指導者派遣		
		沖縄空手の指導者派遣及びセミナー等の実施数（累計）		
		1都道府県	1都道府県 （2都道府県）	1都道府県 （3都道府県）
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

沖縄県空手振興事業（沖縄空手指導者派遣事業）

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
（ソフト）

委託

15, 716

15, 716

令和5年度活動内容

沖縄伝統空手道振興会等の空手関係団体と連携し、海外2カ国程度、国内1箇所（大阪府）へ指導者（6名）を派遣し現地でセミナーを1回開催した。

予算事業名

沖縄県空手振興事業（沖縄空手流派指導体制構築事業）

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
（ソフト）

補助

5, 000

令和6年度活動計画

熟練指導者が実施する国内外でのセミナー等に若手指導者が同行することで、各地の団体等との関係構築を強化し、沖縄空手の普及・啓発に取り組む。

活動指標名

沖縄空手の指導者派遣及びセミナー等の実施数（累計）

R5年度

進捗状況

活動概要

実績値

R3年度

R4年度

実績値(A)

目標値(B)

達成割合
A/B

0都道府県

1都道府県

1都道府県（2都道府県）

1都道府県（2都道府県）

100. 0%

順調

大阪府に空手指導者を6名派遣して、現地でセミナーを1回開催し、沖縄空手の普及・啓発に取り組んだ。

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和5年度は、大阪府に空手指導者を6名派遣して、現地でセミナーを1回開催し、沖縄空手の普及・啓発に取り組んだ。計画通りの進捗であることから、順調と判断した。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 委託事業では県が派遣先・日程・人数を決定するため、より柔軟に国内外へ派遣できるよう、補助事業として（一社）沖縄伝統空手道振興会から派遣指導者への旅費補助へと制度変更することを検討する。	若手指導者の渡航費補助のため、関係機関と調整し、交付要綱を制定した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	熟練指導者は国内外からのセミナー等の招聘があるが、若手指導者が同行する機会がなく、海外または県外支部とのつながりが希薄化するとともに、若手指導者にノウハウが継承されないという課題がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	令和6年度事業より、若手指導者を育成するため、熟練指導者が海外または県外からの招聘によりセミナーおよび演武をする際、若手指導者が同行する渡航費を助成することで、ノウハウの継承に取り組む。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	①沖縄空手の指導者及び後継者の育成
			施策の小項目名	○幼少期における空手の体験機会の創出
主な取組	学校への講師の派遣		対応する成果指標	県内空手道場における門下生数（１道場あたりの平均）
施策の方向	・競技空手と伝統空手を両輪として、運動会や学習発表会等への沖縄空手の導入を広げ、感性を育む大切な時期である幼少期における空手の体験機会の創出に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
幼少期から空手に触れる機会を創出するため、県内小中高校へ空手指導者を派遣し、出前講座を実施する。	県	空手指導者を県内各地に派遣		
		小中高校への空手指導者の派遣校数(累計)		
		小中高校3校	小中高校4校(7校)	小中高校5校(12校)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）						
(1) 取組の進捗状況						
(単位：千円)						
予算事業名				予算事業名		
沖縄県空手振興事業（沖縄空手県内普及促進事業）				沖縄県空手振興事業（沖縄空手県内普及促進事業）		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	7,136	8,507	一括交付金 （ソフト）	委託	10,049
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
県内保育所等19校、小学校5校、中学校1校に空手指導者を派遣し、計1,263名の児童生徒が参加した。				昨年度と同水準の規模で小中高校へ派遣するとともに、保育所等への指導者派遣を増やし、計26校以上の派遣を目指す。		
活動指標名	小中高校への空手指導者の派遣 校数（累計）		R5年度			活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B	
	1校	7校	25校（32校）	小中高校4校（7校）	100.0%	県内保育所等19校、小学校5校、中学校1校に空手指導者を派遣し、計1,263名の児童生徒が出前講座に参加した。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果						
令和5年度は目標7校に対して、実績25校となっている。令和5年度から保育所等への派遣を実施したことにより件数が増加している。学校の総合学習の時間等を活用し、空手の技のみならず歴史まで学習する機会を創出することで、空手を文化として普及できた。						
(2) これまでの改善案の反映状況						
令和5年度の取組改善案				反映状況		
○ 幼少期の子どもが空手に触れる機会を創出する観点から、子どもに対して体験レベルの指導ができるよう指導者の育成を図る。				幼少期の子どもが空手に触れる機会を創出する観点から、子どもに対して体験レベルの指導ができるよう指導者の育成を図るため、検討委員会を設置し要項や要領を定めた。令和6年度事業実施前に指導者育成セミナーを開催予定。		

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	派遣先の学校に対して、近隣の市町村に道場を持つ指導者を派遣したが、子ども向けに指導できる指導者が不足しており、派遣者選定に課題が残った。	① 執行体制の改善	幼少期の子どもが空手に触れる機会を創出する観点から、子どもに対して体験レベルの指導ができるよう指導者の育成を図る。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	①沖縄空手の指導者及び後継者の育成
			施策の小項目名	○幼少期における空手の体験機会の創出
主な取組	巡回展の開催		対応する成果指標	県内空手道場における門下生数（１道場あたりの平均）
施策の方向	・競技空手と伝統空手を両輪として、運動会や学習発表会等への沖縄空手の導入を広げ、感性を育む大切な時期である幼少期における空手の体験機会の創出に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
「空手発祥の地・沖縄」について、より多くの方に知っていただくため、収集した空手関係資料を紹介する巡回展を実施する。	県	教育機関と連携した沖縄空手に関する巡回展の開催		
		巡回展の開催回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

沖縄県空手振興事業（沖縄空手会館ミュージアム事業）

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
（ソフト）

委託

5,500

10,200

令和5年度活動内容

宜野座村立博物館にて巡回展を開催し、沖縄空手が国内外へ普及した歴史や背景等を紹介するとともに、宜野座村に関する沖縄空手の資料を公開した。

予算事業名

沖縄県空手振興事業（沖縄空手会館ミュージアム事業）

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
（ソフト）

委託

10,885

令和6年度活動計画

宜野湾市立博物館にて、沖縄空手の伝播をテーマとした巡回展を開催する。

活動指標名

巡回展の開催回数（累計）

R5年度

進捗状況

活動概要

実績値

R3年度

R4年度

実績値(A)

目標値(B)

達成割合
A/B

—

1回

1回（2回）

1回（2回）

100.0%

順調

宜野座村立博物館にて巡回展を開催し、沖縄空手が国内外へ普及した歴史や背景等を紹介した。また、専門性が高いため、監修委員会を開催し、専門家の意見を取り入れながら実施した。

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
巡回展を計画通り1回実施したため、順調と判定した。また、沖縄空手について理解を深める機会を設けることができ、より多くの方に「空手発祥の地・沖縄」について知っていただいた。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
社会情勢の変化にかかわらず、インバウンドだけでなく多方面からの集客のため、広報の充実を図る。	多方面からの集客を図るため、巡回展のチラシを作成し、空手道場、教育機関、市町村等への配布して周知を図ったほか、県ホームページ、SNS、広報誌、テレビ、ラジオなど各種媒体を通じた広報活動を行った。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	引き続き、多方面からの集客を図るため、他事業との連携を含めて、効果的な取組を実施する必要がある。	② 連携の強化・改善	沖縄空手少年少女世界大会と連動した企画により、県民のほか、世界大会参加者に対する広報活動も併せて行い、効果的な集客を図る。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	②沖縄空手会館を拠点とした「空手発祥の地・沖縄」の強力な発信
			施策の小項目名	○学術研究の深化・発信及び空手愛好家の受入体制強化
主な取組	沖縄空手ガイドの養成		対応する成果指標	県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率
施策の方向	・博物館相当施設としての機能を有する沖縄空手会館による沖縄空手に関する資料収集、調査研究、展示、教育普及等の博物館法に規定される諸活動により、学術研究の深化・発信を推進するとともに、沖縄空手会館を拠点に官民挙げて世界大会や各種セミナーの開催、沖縄空手案内センターによるコーディネートなど、空手愛好家の受入体制の強化を進め、広く国内外に対し「空手発祥の地・沖縄」の発信に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄空手の歴史や県内各地に所在する空手関連顕彰碑及び縁の地等に関心を持っている海外の空手愛好家等のニーズに応えるため、沖縄空手の専門ガイドを育成する。	県	沖縄空手専門ガイドの養成		
		沖縄空手専門ガイドの養成人数（累計）		
		24人	24人（48人）	24人（72人）
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	沖縄県空手振興事業（聖地・沖縄空手ガイド養成事業）			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	
一括交付金 （ソフト）	委託	8, 583	12, 090	
令和5年度活動内容				
通訳ガイドの心得、空手の歴史、特徴、体験、フィールドワーク等のカリキュラムや講座を開設し、英語・中国語・スペイン語の専門ガイドを養成。				

(単位：千円)

予算事業名	沖縄県空手振興事業（聖地・沖縄空手ガイド養成事業）		
R6年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
一括交付金 （ソフト）	委託	12, 090	
令和6年度活動計画			
通訳ガイドの心得、空手の歴史、特徴、体験、フィールドワーク等のカリキュラムや講座を開設し、英語・中国語等の専門ガイドを養成する。			

活動指標名	沖縄空手専門ガイドの養成人数 （累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	33人	31人	35人（36人）	24人（48人）	100. 0%		
沖縄空手の歴史や特徴等を学ぶ養成講座を実施し、沖縄空手の専用のガイドを養成した。							

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
沖縄空手ガイドの養成に係る講座等の実施体制や実施内容を調整し、効率的な知識の定着を図り目標を達成することができた。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 受験生の負担のかからないカリキュラムになるよう見直しを行う。 ○ 空手ガイドの需要の増加に対応できるよう、今後は、英語以外のガイドの養成にも取り組んでいく。	○ 受験生の負担のかからないカリキュラムになるよう見直しを行う。 ○ 空手ガイドの需要の増加に対応できるよう、令和5年度に引き続き多言語のガイドの養成にも取り組んでいく。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	研修期間については受講生の負担のかからないカリキュラムになるよう見直す必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	受験生の負担のかからないカリキュラムになるよう見直しを行う。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	聖地・沖縄での空手修行や縁の地訪問といった強固な目的意識をもったインバウンドが増えてきており、今後、空手ガイドの需要の増加が想定される。	⑥ 変化に対応した取組の改善	空手ガイドの需要の増加に対応できるよう、英語以外のガイドの養成にも取り組んでいく。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	②沖縄空手会館を拠点とした「空手発祥の地・沖縄」の強力な発信
			施策の小項目名	○学術研究の深化・発信及び空手愛好家の受入体制強化
主な取組	国内外の空手愛好家の受入		対応する成果指標	県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率
施策の方向	・博物館相当施設としての機能を有する沖縄空手会館による沖縄空手に関する資料収集、調査研究、展示、教育普及等の博物館法に規定される諸活動により、学術研究の深化・発信を推進するとともに、沖縄空手会館を拠点に官民挙げて世界大会や各種セミナーの開催、沖縄空手案内センターによるコーディネートなど、空手愛好家の受入体制の強化を進め、広く国内外に対し「空手発祥の地・沖縄」の発信に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄空手に関する各種問合せに対応する窓口開設、コーディネーター3名の配置を行い、県内町道場での稽古を希望する国内外の空手愛好家を当該町道場につなぐワンストップ機能を構築する。	県	沖縄空手案内センターの開設		
		コーディネーターの配置人数（内訳）		
		3名	3名（継続3名）	3名（継続3名）
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

沖縄県空手振興事業（沖縄空手案内センター事業）

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

委託

9, 821

11, 545

令和5年度活動内容

沖縄空手に関する各種問合せに対応する窓口開設、コーディネーター3名の配置を行い、県内町道場と空手家とのコーディネート業務を行った。

予算事業名

沖縄県空手振興事業（沖縄空手案内センター事業）

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

委託

11, 545

令和6年度活動計画

沖縄空手に関する各種問合せに対応する窓口開設、コーディネーター3名の配置を行い、国内外の空手家と県内町道場とのコーディネート業務を行う。

活動指標名

コーディネーターの配置人数
(内訳)

R3年度

R4年度

R5年度

実績値

3名

3名

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

順調

活動概要

沖縄空手に関する各種問合せに対応する窓口開設、コーディネーター3名の配置を行い、県内町道場と空手家とのコーディネート業務を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

計画通りコーディネーターを配置し、国内外からの311件の問合せに対応したため、順調と判定した。
また、沖縄空手に関する情報発信や県内道場・空手ガイド等の情報更新等を行い、広く国内外に対し「空手発祥の地・沖縄」の発信に取り組んでいる。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○ 引き続き、沖縄空手に関する各種問合せに対応する窓口を開設し、県内道場等と連携して国内外の空手愛好家を当該町道場につなぐワンストップ機能を構築する。

○ 前年度に引き続き、沖縄空手に関する各種問合せに対応する窓口を開設し、県内道場等と連携して国内外の空手愛好家を当該町道場につなぐワンストップ機能を構築した。

- 128 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	沖縄空手案内センターHPや沖縄空手ナビ、空手ツーリズムHPなど、沖縄空手に関するウェブコンテンツが複数あり、一般の方からは使い分けがわかりにくい。	⑤ 情報発信等の強化・改善	他事業とも連携し、各ウェブコンテンツの対象者・内容等が一見してわかるような構成を検討し、改善を図る。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	②沖縄空手会館を拠点とした「空手発祥の地・沖縄」の強力な発信
			施策の小項目名	○沖縄空手会館の利活用促進
主な取組	企画展の開催		対応する成果指標	県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率
施策の方向	・沖縄空手を見て、触れて、体感できるよう、遠足や修学旅行など、児童生徒の校外学習、県民の生涯学習、観光客向けの体験プログラム等の場として、沖縄空手会館の利活用促進に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄空手会館のミュージアムとしての機能強化を図り、「空手発祥の地・沖縄」に対する理解を深めるため、企画展を開催する。	県	沖縄空手会館における企画展の開催		
		沖縄空手会館における企画展の開催回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）						
(1) 取組の進捗状況						
(単位：千円)						
予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手会館ミュージアム事業）					
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額			
一括交付金 （ソフト）	委託	5,500	10,200			
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
企画展の資料収集、広報活動（展示解説会等）、展示パネル 製作、運搬、設営、運営協力、アンケート分析を行った。				企画展の資料収集、広報活動（展示解説会等）、展示パネル 製作、運搬、設営、運営協力、アンケート分析を行う。		
活動指標名	沖縄空手会館における企画展の 開催回数（累計）		R5年度			活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B	
	1回	1回	1回（2回）	1回（2回）	100.0%	
進捗状況						「欧米人のみた琉球・沖縄の武術」をテーマとした企画展を開催し、併せてオープニングイベントや展示解説会等も開催した。また、専門性が高いため、監修委員会を開催し、専門家の意見を取り入れながら実施した。
順調						

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
企画展を計画通り1回実施したため、順調と判定した。また、沖縄空手について理解を深める機会を設けることができ、より多くの方に「空手発祥の地・沖縄」について知っていただいた（沖縄空手会館資料室の入館者数は前年度より増加している R4:5,387人⇒R5:7,551人）。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
観光客数の増加を見込み、国内外からの観覧者を取り込むため、展示内容のさらなる充実を図るとともに、他事業（空手体験等）との連携により、あらゆる世代を誘客できるような開催プログラムとする。	企画展関連イベントとして、地元の小学校とも連携したオープニングイベントを開催したほか、企画展と関連した豊見城城址見学会や講座を実施して、あらゆる世代の誘客を図るための取り組みを行った。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	幅広い層の県民に沖縄空手の企画展に関心を持っていただくように、わかりやすいパネルや資料作成に留意する必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	幅広い層の県民に沖縄空手の企画展に関心を持っていただくように、幅広い広報活動を展開するとともに、わかりやすいパネルや資料作成を行う。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	②沖縄空手会館を拠点とした「空手発祥の地・沖縄」の強力な発信
			施策の小項目名	○沖縄空手会館の利活用促進
主な取組	出前講座の開催		対応する成果指標	県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率
施策の方向	・沖縄空手を見て、触れて、体感できるよう、遠足や修学旅行など、児童生徒の校外学習、県民の生涯学習、観光客向けの体験プログラム等の場として、沖縄空手会館の利活用促進に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄を発祥の地とする空手の学術研究を推進するため、沖縄空手に関する研究報告会を実施する。	県	沖縄空手会館における出前講座の開催		
		沖縄空手会館における出前講座の開催回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

沖縄県空手振興事業（沖縄空手会館ミュージアム事業）

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
（ソフト）

直接実施

120

120

令和5年度活動内容

沖縄を発祥の地とする空手の学術研究を推進するため、沖縄空手に関する研究報告会を実施した。

予算事業名

沖縄県空手振興事業（沖縄空手会館ミュージアム事業）

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
（ソフト）

直接実施

120

令和6年度活動計画

沖縄を発祥の地とする空手の学術研究を推進するため、沖縄空手に関する研究報告会を実施する。

活動指標名

沖縄空手会館における出前講座
の開催回数（累計）

R5年度

進捗状況

活動概要

実績値

R3年度

R4年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

順調

沖縄空手の学術研究を推進するとともに、沖縄空手の理解促進や知識を深めることを目的に、空手の専門家が発表する場を設け、研究会を実施した。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
計画通り1回実施したため、順調と判定した。沖縄空手について、専門家が発表することで、沖縄空手の理解促進や知識を深めることにつながった。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
社会情勢の変化に応じて実施するため、講演会場や開催時期の見直しを行う。	令和5年度においては、講演会場や開催時期の見直しではなく、他事業（企画展）と連動した効果的な取組を行うため、追加の出前講座を開催した。

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	県民における沖縄空手の理解促進と知識を深めるため、他事業との連携を図るなど、相乗効果を高める取組を検討する必要がある。	② 連携の強化・改善	ユネスコ無形文化遺産登録を目指すため、沖縄空手の民俗学的な観点から実施した悉皆調査に係る調査報告と連動した出前講座を開催して、相乗効果を高める。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	②沖縄空手会館を拠点とした「空手発祥の地・沖縄」の強力な発信
			施策の小項目名	○沖縄空手の魅力発信
主な取組	沖縄空手の普及・啓発		対応する成果指標	県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率
施策の方向	・沖縄空手に関する様々なコンテンツの制作や国内外のイベントでの空手家による演武披露のほか、女性の美容やシニアの健康を目的としたエクササイズ等による魅力発信に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
「空手発祥の地・沖縄」の認知度向上を図るため、県外のイベントにおいて空手演武等を実施する。	県	県内空手家の県外イベントへの派遣		
		県外イベントにおける演武等の実施回数(累計)		
		4回	4回(8回)	4回(12回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)				
予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手普及・啓発事業）				予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手普及・啓発事業）			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度				
					主な財源	実施方法	当初予算額		
一括交付金 （ソフト）	委託	8,050	7,301		一括交付金 （ソフト）	委託	21,610		
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画				
県外の観光、物産展等と連携し、沖縄空手の演武ステージを実施した。					県外の観光、物産展等と連携し、沖縄空手の演武ステージを実施する。				
活動指標名	県外イベントにおける演武等の 実施回数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要		
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		令和5年度は、東京都、千葉県、京都府の3カ所で空手演武ステージを実施した。		
	2回	3回	3回（6回）	4回（8回）	75.0%	概ね順調			

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
新型コロナウイルス感染症の影響でイベント参加3回分の予算要求しかできず、県外でのイベント開催が十分に実施できない状況となっている。6月に開催された「沖縄めんそーれフェスタinサンシャインシティ」での空手演武ステージおよびPRブース出展においては、440名が来場者アンケートに回答し、うち34.3%の方が空手発祥の地が沖縄県であることを認知していた。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の実行計画	反映状況
○ 県外イベントでの空手演武を実施するにあたって、より多くの人々に観覧してもらえるよう情報発信するとともに、イベント外の一般層にも普及できるよう広報の充実を図る。	施設内や駅でのポスター掲示やイベントチラシの配布、SNS広告（InstagramやFacebook等）により情報発信した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	新型コロナウイルスの影響によりイベントへの参加回数が実施計画時点から3回となっていた。	① 執行体制の改善	新型コロナウイルスが5類へ移行したことに伴い、仕様書上のイベント参加回数を4回へ変更している。
① 県の制度、執行体制(内部要因)	イベントの観覧者へは「空手発祥の地・沖縄」を普及できているが、イベントを観覧していない人やイベント開催地以外の一般層への普及活動ができていないため、県外に幅広く情報発信する必要がある。	① 執行体制の改善	イベント開催地以外の一般層への普及活動が不十分なため、SNS広告等を活用して県外に幅広く情報発信する。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	②沖縄空手会館を拠点とした「空手発祥の地・沖縄」の強力な発信
			施策の小項目名	○沖縄空手の魅力発信
主な取組	沖縄空手関連コンテンツの制作		対応する成果指標	県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率
施策の方向	・沖縄空手に関する様々なコンテンツの制作や国内外のイベントでの空手家による演武披露のほか、女性の美容やシニアの健康を目的としたエクササイズ等による魅力発信に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
映像制作会社・メディア等と連携した沖縄空手映像コンテンツ制作や沖縄空手を文化資源として活用した空手ツーリズム商品の造成を行うことで、「空手発祥の地・沖縄」の発信強化を図る。	県	沖縄空手関連のコンテンツ制作に対する支援の実施		
		コンテンツ制作に対する支援件数(累計)		
		1件	1件(2件)	1件(3件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手産業連携構築支援事業）			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	
一括交付金 （ソフト）	補助	0	1,929	
令和5年度活動内容				
修学旅行を誘致することを目的に制作した沖縄空手映像コンテンツ（1件）に対して補助を行った。				
予算事業名	空手ツーリズム受入体制構築事業			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	
県単等	補助	0	7,528	
令和5年度活動内容				
観光関連事業者が造成する空手ツーリズム商品に対して補助（2件）を行った。				

(単位：千円)

予算事業名	—		
R6年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
—	—	—	
令和6年度活動計画			
空手映像コンテンツ制作については、事業者の参画が見込まれないことから、公募を休止する。			
予算事業名	空手ツーリズム受入体制構築事業		
R6年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	補助	10,000	
令和6年度活動計画			
観光関連事業者が造成する空手ツーリズム商品に対して補助（2件）を行う。			

活動指標名	コンテンツ制作に対する支援件数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	—	0件（0件）	3件（3件）	1件（2件）	100.0%	順調	修学旅行を誘致することを目的に制作した沖縄空手映像コンテンツ（1件）、観光関連事業者が造成する空手ツーリズム商品（2件）に対する補助を行い、順調に取組を推進できた。

- 140 -

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
沖縄空手映像コンテンツ（1件）、空手ツーリズム商品（2件）に対する支援を達成し、順調に取組を推進している。 沖縄空手に関する様々なコンテンツを制作することによって、県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率に寄与している。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 令和5年度新規事業である「空手ツーリズム受入体制構築事業」において、観光関連事業者と連携し、新たなツーリズム商品の開発に取り組む。 ○多くの事業者が応募してくれるよう、早めに公募を開始し、公募期間を長く設定する。	○令和5年度より「空手ツーリズム受入体制構築事業」を立ち上げ、観光関連事業者が造成する空手ツーリズム商品の開発2件に対して支援した。 ○令和5年度は、公募期間を長く設定し、1事業者からの応募があった。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	空手映像コンテンツ制作については、事業者からの応募が少ない。	⑥ 変化に対応した取組の改善	空手映像コンテンツ制作については、事業者の参画が見込まれないことから、公募を休止する。 今後は、空手ツーリズム商品の造成に力を入れて取り組んでいく。
⑦ その他(改善余地の検証等)	空手ツーリズム商品の造成について、より多くの観光事業者に参画してもらう必要がある。	② 連携の強化・改善	より多くの観光事業者に参画してもらえよう、事業者向け説明会の開催や関係団体との連携を通して、空手ツーリズム受入体制構築事業の周知を図る。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	③沖縄空手世界大会の定期開催等を通じた国際交流
			施策の小項目名	○世界レベルの大会や国際的なイベントの実施
主な取組	沖縄空手世界大会の開催		対応する成果指標	県外・海外からの空手関係者来訪数
施策の方向	・世界に1億3千万人いるといわれる空手愛好家を対象に、沖縄空手世界大会や空手の日記念演武祭など、世界レベルの大会や国際的なイベントを実施し、沖縄空手を通じた国際交流の活性化に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄空手の次世代を担う後継者の育成及び交流人口の拡大を図るため、15歳以上を対象とした世界大会と14歳以下を対象とした少年少女世界大会を2年おきに交互に開催する。	県,空手関係団体	大会の開催	大会の開催準備	
		大会参加者数	各種規程の検討等	
		1,600人	各種規程の検討等	各種規程の検討等
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

沖縄空手世界大会開催事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

負担

64, 947

30, 129

令和5年度活動内容

令和6年度に開催する「第2回沖縄空手少年少女世界大会」に向け、事務局体制の構築、大会開催に向けた準備を行い、県内予選を実施した。

予算事業名

沖縄空手世界大会開催事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

負担

100, 423

令和6年度活動計画

令和6年8月に「第2回沖縄空手少年少女世界大会」本大会を開催する。

活動指標名	大会参加者数		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		令和6年度に開催する「第2回沖縄空手少年少女世界大会」に向け、事務局体制の構築、大会開催に向けた準備を行い、県内予選を実施した。
	—	724人	各種規程の策定等	各種規程の検討等	100. 0%	順調	

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
実行委員会の立ち上げ、各種規程等の策定、審判講習会等を計画どおり実施したため、順調と判定した。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 安心安全な大会運営を行うため、大会参加者に基本的な感染症対策を周知、大会参加者の連絡責任者の把握と連絡体制の構築、海外からの参加者の受入責任者に対する必要な管理・支援の周知等を行う。 ○ 競技運営においては、各コートでの審判員の判断が重要であることから、審判技量の向上を図るため、審判講習会を複数回実施する。 ○ 空手関係者以外の不特定多数へ向けた広報については、大会サイト及び大会SNSからの情報発信、オンライン広告や関連イベント等、様々な広報・プロモーション方法を駆使し、大会の機運醸成を図っていく。	○ 安心安全な大会運営を行うため、県内予選参加者に基本的な感染症対策を周知するとともに、大会参加者の連絡責任者の把握と連絡体制の構築等を行った。 ○ 競技運営においては、各コートでの審判員の判断が重要であることから、審判技量の向上を図るため、令和5年8月から12月の間に審判講習会を30回実施した。 ○ 空手関係者以外の不特定多数へ向けた広報については、大会サイト及び大会SNSからの情報発信、大会1年前イベントを開催する等、大会の機運醸成を図った。 ○ 県内予選から審判員にタブレットを導入し、採点から集計・表示が迅速に行えるよう運営を改善した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	引き続き、大会の開催に向けた機運醸成を図る必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	大会の開催に向けた機運醸成を図るため、関連イベントを複数回開催するとともに、TV・ラジオ等を活用した周知啓発を行う。
⑤ 県民ニーズの変化(外部環境の変化)	今大会は、コロナ後に開催する最初の大会であることから、県外・海外からの参加者数についても前回大会より増加が見込まれる。	⑥ 変化に対応した取組の改善	国内外からの参加者等の記念になるよう、開閉会式、フェアウェルパーティー等について規模を拡充して実施する。また、大会参加以外の日も楽しめるよう空手フェスティバルを開催する。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	③沖縄空手世界大会の定期開催等を通じた国際交流
			施策の小項目名	○世界レベルの大会や国際的なイベントの実施
主な取組	沖縄空手少年少女世界大会の開催		対応する成果指標	県外・海外からの空手関係者来訪数
施策の方向	・世界に1億3千万人いるといわれる空手愛好家を対象に、沖縄空手世界大会や空手の日記念演武祭など、世界レベルの大会や国際的なイベントを実施し、沖縄空手を通じた国際交流の活性化に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄空手の次世代を担う後継者の育成及び交流人口の拡大を図るため、15歳以上を対象とした世界大会と14歳以下を対象とした少年少女世界大会を2年おきに交互に開催する。	県,空手関係団体	大会の開催	大会の開催準備	大会の開催
		大会参加者数	各種規程の策定等	
		2,000人	各種規程の策定等	2,000人
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名		沖縄空手世界大会開催事業			予算事業名		沖縄空手世界大会開催事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度			
					主な財源	実施方法	当初予算額	
一括交付金 (ソフト)	負担	64,484	30,129		一括交付金 (ソフト)	負担	100,423	
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画			
令和6年度に開催する「第2回沖縄空手少年少女世界大会」に向け、事務局体制の構築、大会開催に向けた準備を行い、県内予選を実施した。					令和6年8月に「第2回沖縄空手少年少女世界大会」本大会を開催する。			

活動指標名		大会参加者数		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B	順調		令和6年度に開催する「第2回沖縄空手少年少女世界大会」に向け、事務局体制の構築、大会開催に向けた準備を行い、県内予選を実施した。
	—	1,196人	各種規程の策定等	各種規程の策定等	100.0%			

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
実行委員会の立ち上げ、各種規程等の策定、審判講習会等を計画どおり実施したため、順調と判定した。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 安心安全な大会運営を行うため、大会参加者に基本的な感染症対策を周知、大会参加者の連絡責任者の把握と連絡体制の構築、海外からの参加者の受入責任者に対する必要な管理・支援の周知等を行う。 ○ 競技運営においては、各コートでの審判員の判断が重要であることから、審判技量の向上を図るため、審判講習会を複数回実施する。 ○ 空手関係者以外の不特定多数へ向けた広報については、大会サイト及び大会SNSからの情報発信、オンライン広告や関連イベント等、様々な広報・プロモーション方法を駆使し、大会の機運醸成を図っていく。	○ 安心安全な大会運営を行うため、県内予選参加者に基本的な感染症対策を周知するとともに、大会参加者の連絡責任者の把握と連絡体制の構築等を行った。 ○ 競技運営においては、各コートでの審判員の判断が重要であることから、審判技量の向上を図るため、令和5年8月から12月の間に審判講習会を30回実施した。 ○ 空手関係者以外の不特定多数へ向けた広報については、大会サイト及び大会SNSからの情報発信、大会1年前イベントを開催する等、大会の機運醸成を図った。 ○ 県内予選から審判員にタブレットを導入し、採点から集計・表示が迅速に行えるよう運営を改善した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	引き続き、大会の開催に向けた機運醸成を図る必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	大会の開催に向けた機運醸成を図るため、関連イベントを複数回開催するとともに、TV・ラジオ等を活用した周知啓発を行う。
⑤ 県民ニーズの変化(外部環境の変化)	今大会は、コロナ後に開催する最初の大会であることから、県外・海外からの参加者数についても前回大会より増加が見込まれる。	⑥ 変化に対応した取組の改善	国内外からの参加者等の記念になるよう、開閉会式、フェアウェルパーティー等について規模を拡充して実施する。また、大会参加以外の日も楽しめるよう空手フェスティバルを開催する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	③沖縄空手世界大会の定期開催等を通じた国際交流
			施策の小項目名	○沖縄空手の海外普及の促進とグローバルネットワークの構築
主な取組	海外への指導者の派遣		対応する成果指標	県外・海外からの空手関係者来訪数
施策の方向	・世界各地への指導者の派遣や海外の空手関係団体等との連携を通して、沖縄空手の海外普及の促進とグローバルネットワークの構築に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄伝統空手道振興会等の空手関係団体と連携し、海外2カ国程度、国内1都道府県へ指導者を派遣し現地でセミナー等を実施する。	県	海外指導者派遣		
		沖縄空手の指導者派遣及びセミナー等の実施数(累計)		
		海外1カ国	海外2カ国(3カ国)	海外2カ国(5カ国)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手指導者派遣事業）				予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手流派指導体制構築事業）	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度		
					主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	15,716	15,716		一括交付金 （ソフト）	補助	5,000
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画		
海外2カ国（ドイツ、ベルギー）に空手指導者3名を派遣し、現地でセミナーの開催や空手演武を実施し、沖縄空手の普及・啓発に取り組んだ。					熟練指導者が実施する国内外でのセミナー等に若手指導者が同行することで、各地の団体等との関係構築を強化し、沖縄空手の普及・啓発に取り組む。		
活動指標名	沖縄空手の指導者派遣及びセミナー等の実施数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		ドイツおよびベルギーに空手指導者3名を派遣し、現地でセミナーや空手演武を実施し、沖縄空手の普及・啓発に取り組んだ。
	0カ国	1カ国	海外2カ国（3カ国）	海外2カ国（3カ国）	100.0%	順調	

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和5年度は、ドイツおよびベルギーに空手指導者3名を派遣し、現地でのセミナーや空手演武を5回実施した。当初の計画通りの進捗であることから順調と判断した。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
委託事業では県が派遣先・日程・人数を決定するため、より柔軟に国内外へ派遣できるよう、補助事業として（一社）沖縄伝統空手道振興会から派遣指導者への旅費補助へと制度変更することを検討する。	若手指導者の渡航費補助のため、関係機関と調整し、交付要綱を制定した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	熟練指導者は国内外からのセミナー等の招聘があるが、若手指導者が同行する機会がなく、海外または県外支部とのつながりが希薄化するとともに、若手指導者にノウハウが継承されないという課題がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	令和6年度事業より、若手指導者を育成するため、熟練指導者が海外または県外からの招聘によりセミナーおよび演武をする際、若手指導者が同行する渡航費を助成することで、ノウハウの継承に取り組む。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	③沖縄空手世界大会の定期開催等を通じた国際交流
			施策の小項目名	○沖縄空手を通じた国際交流の推進
主な取組	沖縄空手に関するイベントの開催		対応する成果指標	県外・海外からの空手関係者来訪数
施策の方向	・「空手の日」や「世界のウチナーンチュ大会」等のイベントを活用して空手演武のギネス記録更新に取り組むほか、来沖した海外空手家と県内児童生徒の交流の場を創出するなど、沖縄空手を通じた国際交流を推進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
10月25日が空手の日であることを記念して、県内外の多くの空手家による演武祭を開催する。	県,空手関係団体	「空手の日」を記念したイベントの開催		
		奉納演武及び記念演武祭の実施回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	https://karate-event.jp/

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

沖縄県空手振興事業（沖縄空手イベント開催事業）

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

委託

22, 500

12, 000

令和5年度活動内容

10月25日が空手の日であることを記念し、沖縄空手会館特別道場での奉納演武、那覇市国際通りでの空手家による一斉演武を開催した。

予算事業名

沖縄空手イベント開催事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

委託

15, 000

令和6年度活動計画

10月25日が空手の日であることを記念し、沖縄空手会館特別道場での奉納演武、那覇市国際通りでの空手家による一斉演武を開催する。

活動指標名

奉納演武及び記念演武祭の実施回数（累計）

R3年度

R4年度

R5年度

実績値

1回

1回

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

順調

活動概要

10月25日に空手会館特別道場にて奉納演武、10月29日に那覇市国際通りにて記念演武祭を開催した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

10月25日が空手の日であることを記念し、イベントを開催した。記念演武祭は国際通りに1, 926名の空手家が集まり一斉演武を行ったとともに、沿道では約10, 000名の観客が観覧した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

記念演武祭の構成段階から空手団体と意見交換等を行い、県内外から多くの空手家に協力いただけるよう連携を取る。

反映状況

記念演武祭の構成段階から空手団体と意見交換等を行い、県内外から多くの空手家と連携を取り、10月25日が空手の日であることを記念して、沖縄空手会館特別道場での奉納演武、那覇市国際通りでの空手家による一斉演武等を開催した。

- 152 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況（内部要因）	記念演武祭は、多くの空手家に演武の参加協力を行う必要があり、県内主要 4 団体を中心に参加の呼びかけが求められる。	② 連携の強化・改善	記念演武祭の構成段階から空手団体と意見交換等を行い、県内外から多くの空手家に協力いただけるよう連携を取る。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	④ユネスコ無形文化遺産の登録に向けた取組の推進
			施策の小項目名	○沖縄空手の型に秘められた精緻な技と平和を希求し礼節を重んじる精神性の研究
主な取組	沖縄空手に関する資料収集・調査研究		対応する成果指標	県民気運の醸成及び普及啓発のためのイベント参加人数
施策の方向	・先人が築きあげてきた沖縄空手の型に秘められた精緻な技と平和を希求し礼節を重んじる精神性を研究し、その保存・継承及び普及・啓発に係る機関や団体と協働して取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄空手会館のミュージアム事業の諸活動の充実強化の一環として、沖縄空手の戦前新聞等新規資料の収集、スキャニングやトリミング等での紙面や発行日等の情報を目録化、ファイリング、パネル化を行う。	県	沖縄空手に関する資料の収集		
		沖縄空手に関する戦前の新聞記事等の収集件数（累計）		
		200件	200件（400件）	200件（600件）
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

沖縄県空手振興事業（沖縄空手会館ミュージアム事業）

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
（ソフト）

委託

5,500

10,200

令和5年度活動内容

利用者の沖縄空手に対する理解を深めることを目的に、沖縄空手会館資料閲覧室の新規資料の収集を行い、沖縄空手会館の収蔵資料の充実を図った。

予算事業名

沖縄県空手振興事業（沖縄空手会館ミュージアム事業）

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
（ソフト）

委託

10,885

令和6年度活動計画

利用者の沖縄空手に対する理解を深めることを目的に、沖縄空手会館資料閲覧室の新規資料の収集を行い、沖縄空手会館の収蔵資料の充実を図る。

活動指標名

沖縄空手に関する戦前の新聞記事等の収集件数（累計）

R5年度

進捗状況

活動概要

実績値

R3年度

R4年度

実績値(A)

目標値(B)

達成割合
A/B

—

201件

216件（417件）

200件（400件）

100.0%

順調

沖縄空手会館閲覧室の新規資料の収集を実施し、収蔵資料の充実を図った。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
沖縄空手に関する戦前の新聞記事等の収集件数200件を達成したため、順調と判定した。当取組によって、沖縄空手会館の収蔵資料が充実し、沖縄空手会館資料の入館者数は前年度より増加している（R4:5,387人⇒R5:7,551人）。	
（2）これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
学芸員の活動に支障を来さないよう、予算確保や執行体制の見直しを図る。	関係部局と調整の上、令和6年度より学芸員の配置が認められた。

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	専門知識を有する作業となるため、学芸員の配置について継続して行う必要がある。	⑧ その他	引き続き、予算の確保や増額など、当課や関係機関における研究員の配置・確保について調整を行い、取り組んでいく。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	④ユネスコ無形文化遺産の登録に向けた取組の推進
			施策の小項目名	○沖縄空手の型に秘められた精緻な技と平和を希求し礼節を重んじる精神性の研究
主な取組	沖縄空手会館の収蔵資料整理		対応する成果指標	県民気運の醸成及び普及啓発のためのイベント参加人数
施策の方向	・先人が築きあげてきた沖縄空手の型に秘められた精緻な技と平和を希求し礼節を重んじる精神性を研究し、その保存・継承及び普及・啓発に係る機関や団体と協働して取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄空手会館のミュージアム事業の諸活動の充実強化の一環として、収蔵資料の整理を行う。	県	沖縄空手会館の収蔵資料整理		
		整理した資料点数（累計）		目録作成件数
		140,000点	140,000点（280,000点）	1件
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

沖縄県空手振興事業（沖縄空手会館ミュージアム事業）

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
（ソフト）

委託

5, 500

10, 200

令和5年度活動内容

利用者の沖縄空手に対する理解を深めることを目的に、沖縄空手会館の収蔵資料整理を行い、沖縄空手会館の収蔵資料の充実を図った。

(単位：千円)

予算事業名

沖縄県空手振興事業（沖縄空手会館ミュージアム事業）

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
（ソフト）

委託

10, 885

令和6年度活動計画

利用者の沖縄空手に対する理解を深めることを目的に、沖縄空手会館の収蔵資料整理を行い、沖縄空手会館の収蔵資料の充実を図る。

活動指標名

整理した資料点数（累計）

R5年度

進捗状況

活動概要

実績値

R3年度

R4年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

—

140, 000点

140, 000点（280, 000点）

140, 000点（280, 000点）

100. 0%

順調

収蔵資料整理件数14万件を実施し、沖縄空手会館の収蔵資料の充実を図った。

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
収蔵資料整理件数14万件を実施したため、順調と判定した。当取組によって沖縄空手会館の収蔵資料が充実し、沖縄空手会館資料室の入館者数は前年度より増加している（R4:5,387人⇒R5:7,551人）。	
（2）これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
引き続き、予算確保及び増額、学芸員や研究員等の配置について調整が必要である。	関係部局と調整の上、令和6年度より学芸員の当課における配置が認められた。

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	令和6年度より学芸員の配置が認められたものの、年度当初において応募がなく欠員となっている。	① 執行体制の改善	引き続き、予算確保及び増額など、当課や関係機関における学芸員や研究員等の配置・確保について調整を行い、取り組んでいく。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	④ユネスコ無形文化遺産の登録に向けた取組の推進
			施策の小項目名	○沖縄空手の学術研究の推進やユネスコ無形文化遺産登録に向けた気運の醸成
主な取組	調査研究の実施		対応する成果指標	県民気運の醸成及び普及啓発のためのイベント参加人数
施策の方向	・ 沖縄空手に関する学術研究を推進し深めるとともに、人格を高め「平和の武」といわれる沖縄空手の伝統文化としての価値を広く啓発し、ユネスコ無形文化遺産登録に向けた気運の醸成に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録を目指し、空手が生活文化に浸透している実態を民俗学的観点から調査する。	県	学術研究の推進		
		県内集落の悉皆調査の実施数（累計）		報告書作成件数
		調査50力所	調査50力所（100力所）	1件
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

沖縄空手ユネスコ登録推進事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

県単等

委託

7,452

11,109

令和5年度活動内容

引き続き民俗学的悉皆調査を実施するとともに、令和6年度にまとめる予定の調査報告書の素案を策定した。

予算事業名

沖縄空手ユネスコ登録推進事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

委託

9,984

令和6年度活動計画

これまで実施した民俗学的悉皆調査に係る補足調査を実施するとともに、調査報告書を作成する。

活動指標名

県内集落の悉皆調査の実施数
(累計)

R3年度

R4年度

実績値

—

34カ所

R5年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

調査76カ所 (110カ所)

調査50カ所 (100カ所)

100.0%

進捗状況

順調

活動概要

沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録を目指すため、空手が生活文化に浸透している実態を民俗学的観点から悉皆調査を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

民俗学観点から県内集落の悉皆調査を76件実施したため、順調と判定した。令和4年度調査分も含めて、調査報告書の作成につなげていき、引き続き、沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録を目指す。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

調査票の作成については、文献等から判明している部分については調査票に反映させ、現状認識や課題については直接、県が調査員（学術研究連絡会の委員）を派遣しヒアリング等を実施する。

反映状況

県において、調査員（学術研究連絡会の委員）を直接派遣することで、昨年度に比べ、県内集落の悉皆調査の実施数が大きく増加した。

- 161 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	県内集落における悉皆調査の実施体制を強化することで、実施数が大きく伸びた。	④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	昨年度までに実施した悉皆調査において、さらに深掘りする必要がある場合は、補足調査を行い、ユネスコ無形文化遺産登録を目指すための報告書作成に活かしていく必要がある。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	④ユネスコ無形文化遺産の登録に向けた取組の推進
			施策の小項目名	○沖縄空手の学術研究の推進やユネスコ無形文化遺産登録に向けた気運の醸成
主な取組	県民等の気運醸成		対応する成果指標	県民気運の醸成及び普及啓発のためのイベント参加人数
施策の方向	・ 沖縄空手に関する学術研究を推進し深めるとともに、人格を高め「平和の武」といわれる沖縄空手の伝統文化としての価値を広く啓発し、ユネスコ無形文化遺産登録に向けた気運の醸成に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録を目指し、県民や空手関係者の機運醸成を図るため、シンポジウムを開催する。	県	県民等の気運醸成に向けた取組の推進		
		沖縄空手関連イベント等を通じた普及啓発の取組件数（累計）		
		4件	4件（8件）	4件（12件）
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

沖縄空手ユネスコ登録推進事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

県単等

委託

7,452

11,109

令和5年度活動内容

沖縄空手について、ユネスコ無形文化遺産登録にふさわしいの歴史や精神性を有していることを県民向けにPRするためのシンポジウム等を開催した。

予算事業名

沖縄空手ユネスコ登録推進事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

委託

9,984

令和6年度活動計画

沖縄空手について、ユネスコ無形文化遺産登録に向けた機運醸成を図るため、他事業（沖縄空手アカデミー等）と連携したイベントを実施する。

活動指標名

沖縄空手関連イベント等を通じた普及啓発の取組件数（累計）

R3年度

R4年度

実績値(A)

目標値(B)

達成割合
A/B

実績値

4件

4件

4件（8件）

4件（8件）

100.0%

進捗状況

順調

活動概要

沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録を目指すため、県民等の機運醸成に向けた取組（シンポジウム等）を実施した。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
沖縄空手関連イベントを4件実施したため、順調と判定した。関連イベント等を通じた普及啓発を図ることで、ユネスコ無形文化遺産登録を目指すための相乗効果が期待できる。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録について県民の気運醸成を図るため、日常的に目に出来るようなグッズの製作・配布や、SNSを活用したPR動画の配信等を行うことを検討する。	当初計画していた取組を十分に行うことはできなかったが、シンポジウムの開催に当たって、県民の機運醸成を図るための取組を強化した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録を目指すため、民俗学的観点から実施している悉皆調査の結果を周知して、県民に対する普及啓発と機運醸成を図る必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	沖縄空手に関する県内集落の悉皆調査の結果については、他事業との連携を図りながら、情報発信を強化して、県民に対する普及啓発と機運醸成を図っていく。